2018年10月25~26日

改憲問題、安田さん、沖縄、軍備、強制不妊、国会・政局、 南北・米朝・日韓、INF、女川原発、サウジ殺人

なぜ改憲?いま必要なの? 「国民の生活を優先して考えて」

東京新聞 2018 年 10 月 25 日 朝刊

自民党の改憲案国会提出に反対の声を上げる参加 者ら=24日午後、東京・永田町で



二十四日に召集された臨時国会の所信表明演説で、安倍 晋三首相は憲法審査会を開き、改憲に向けた議論を進めた い意向を示した。各社の世論調査をみても、改憲議論を優 先すべきと考える国民は多くはない。平成の終わりに「新 しい国づくり」を強調する演説を首都圏の人々はどう聞い たのか。 (大平樹、神野光伸、山口登史、萩原誠)

「また首相がやりたい放題やるのではないか」

安倍首相の所信表明演説をテレビ中継で見ていた川崎市 宮前区の自営業林佐登子さん(44)は、こんな不安を口 にした。反対意見の多い重要法案も次々に成立させてきた 国会運営には不信感がいっぱいだ。

日比谷公園(東京都千代田区)を散歩していた豊島区の会社員寺島伸一さん(36)は「日本の平和を守ってきたのは憲法だと思う。改憲は拙速ではないか」。出版社勤務の女性(24)=杉並区=は「なぜ急いで進めようとしているのか理解に苦しむ」と首をかしげる。

宇都宮市の元小学校教員、福田孝志さん(65)も「改憲議論は急務ではない。国民の生活について優先的に議論してほしい」と望む。年金生活者として「来年の消費税増税で生活は厳しくなる。退職金を取り崩す人も出てくるだろう」と暮らしの先行きを心配した。

千葉市花見川区の会社役員の永田孝一さん(67)は、 改憲には賛成というが「自衛隊のあり方を深く論議しない まま、自衛隊の明記で存在を認めさせるだけの改憲なんて 不要だ。目先のごまかしにすぎず、安倍首相の実績作りに しか見えない。数の力で強引に進める国会運営は言語道断。 もっと議論を深める努力をしてほしい」と注文した。

第九次横田基地公害訴訟原告団長の福本道夫さん(69)

=東京都昭島市=も「民主主義国家なら、いかに少数意見を大事にするかを考えるべきだが、安倍政権はこれまでも最終的に人数で押し切ってきた」と警戒する。横田には米軍に加え、航空自衛隊の基地もあり、「現状でも、入間基地の自衛隊機や大型へリが(飛来して)住宅地の上を旋回したり低空飛行したりする。憲法に自衛隊を明記したら、さらに何でもやっていい状態にならないか」と懸念を示した。

◆「九条守れ」声一つ 国会前1200人が抗議集会

国会前の路上では開会に先立ち正午から、憲法改正に反対する野党四党と無所属の国会議員や一般市民ら約千二百人(主催者発表)が集会を開き、「改憲案の提出反対」「九条守れ」などと声を上げた。

「今の政治はひどすぎる。いてもたってもいられなくて 来た」と集会に参加したのは東京都足立区の主婦鎌田由利 子さん(67)だ。

亡き父は十九歳のとき、茨城県内の学校で戦争に反対する新聞を作ったとして治安維持法で逮捕されたという。しばらくして釈放されたと聞いたが「戦争に突き進んでいく中で国賊とみられたんだと思う。戦争をしやすくする、憲法九条を壊す改憲は絶対に止めないと」と語気を強めた。

東京都武蔵村山市の看護師早川恵子さん(74)は「衰退が止まらない地方を何とかするとか、改憲より優先して取り組むべき課題はあるのではないか」と改憲にこだわる首相の姿勢に首をかしげた。 (井上靖史)

しんぶん赤旗 2018 年 10 月 25 日(木)

さ安権国会心新止るあ倍包会 憲基 、政囲開日・地め

安倍 政権が 狙う 民党 改



(写真)連帯のあいさつをする小池晃書記局 長(右)=24日、衆院第2議員会館前

憲案の提出反対、沖縄・辺野古への米軍新基地建設の断念、 共謀罪法の廃止を求める臨時国会開会日行動が24日、衆 院第2議員会館前を中心に行われました。1200人(主催者 発表)が参加。「改憲発議を必ず止めよう」「辺野古新基地 建設反対」などの声を響かせました。

総がかり行動実行委員会、「安倍9条改憲NO!全国市民 アクション」、共謀罪NO!実行委員会が共催しました。

総がかり行動実行委員会の福山真劫共同代表があいさつ し、「たたかいを広げ国会を包囲しよう。野党は本格的な共 闘をつくり、その共闘を私たちが支援し、その選挙に参加してともに頑張ろう」と強調。11月3日の「止めよう! 改憲発議―この憲法で未来をつくる11・3国会前大行動」への参加を呼びかけました。

日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社民党、無所属の議員があいさつ。日本共産党の小池晃書記局長は、沖縄の選挙での3連勝にふれ、「安倍政権は、辺野古新基地建設中止、普天間基地閉鎖の対米交渉を始めるべきだ」と強調。改憲、消費税10%増税を許さないとのべ、「市民と野党の本気の共闘で、自公・補完勢力を少数に追い込もう」と訴えました。

神奈川県愛川町から約2時間かけて参加した女性(66)は「この国会では、森友・加計の疑惑をはっきり究明してほしい」ときっぱり。「改憲など国民は求めていません。米軍機が好き勝手に飛ぶような日米地位協定の見直しこそ必要です」と語りました。

首相所信表明 改憲発議「議員の責任」 条文案、今国会 提示に意欲

東京新聞 2018 年 10 月 25 日 朝刊

第百九十七臨時国会が二十四日召集された。安倍晋三首相は衆参両院本会議で所信表明演説を行い、改憲について「政党が具体的な改憲案を示すことで、国民の理解を深める努力を重ねていく」と述べ、今国会中の衆参憲法審査会への自民党改憲条文案の提示に意欲を表明した。

首相は演説で、憲法審査会で議論を重ねれば、与野党を超えた幅広い合意が得られると指摘。「あるべき姿を最終的に決めるのは国民だ。国民と共に議論を深め、私たち国会議員の責任を共に果たしていこう」と改憲の是非を問う国民投票に向け、国会の改憲発議を呼び掛けた。

演説に先立つ自民党両院議員総会でも「憲法改正という 新たな国創りに向けて共に頑張っていこう」と語った。

自民党は、九条への自衛隊明記を柱とする四項目の改憲 条文案をまとめており、今国会で憲法審に提示し、目標と する二○二○年の新憲法施行に向けて議論を加速させたい 考え。立憲民主党などの野党は、国民投票でのテレビCM 規制の議論などを優先するよう求めている。

演説後、自民、公明両党の衆院憲法審査会幹事は国会内で会談し、災害復旧費を盛り込んだ二〇一八年度第一次補正予算案を十一月上旬にも成立させた後、速やかに憲法審を再開する方針で一致した。 (新開浩)

首相所信、改憲意欲強まる 「**3分の2」発議意識?** 東京新聞 2018 年 10 月 25 日 朝刊

衆院本会議で所信表明演説をする安倍首相=24日、国会で



安倍晋三首相は二十四日の所信表明演説で、臨時国会での自民党改憲条文案の提示に意欲を示すなど、これまでにも増して強い表現で、改憲を具体的に推進していく決意を表明した。改憲勢力だけでの議論も辞さないと読み取れる言葉も。独走気味な首相の姿勢に、他党は警戒を強めている。 (妹尾聡太)

■演説の締め

「衆院の三分の二近い議席を占め、強固な政治基盤の上 に、その先の時代の国創りを強力に進めた」

演説の締めくくりで首相は、百年前の一九一八年に初の本格的政党内閣を発足させた原敬(はらたかし)に言及。 民意に耳を傾けた原の姿勢を見習うと強調しながら、自らも「新しい国創りに挑戦する」と訴えた。

ミソは、わざわざ「三分の二」に触れた点。改憲勢力が 今、衆参両院で改憲発議に必要な三分の二以上の議席を有 している状況と重ね合わせ、好機を逃さず改憲に「挑戦」 する決意を込めたとも読み取れる。

■全議員対象

改憲に直接言及した部分でも熱意は高まった。

一月の施政方針演説では、「各党が憲法の具体的な案を国会に持ち寄」ることを期待していると話したが、今回の演説では「政党が具体的な改正案を示す」と表現。各党案への期待にとどまらず、自民党が改憲条文案を憲法審査会で示す宣言のように受け取れる。

また、首相は今回「あるべき姿を最終的に決めるのは国 民。私たち国会議員の責任を共に果たそう」として、改憲 の是非を問う国民投票の実施を訴えた。施政方針演説の際 はこの表現は使わず、自民党両院議員総会で「(改憲を) 実 現していく大きな責任」を党内に呼び掛けただけだった。 全党派の国会議員に広げて「責任」を求めた形だ。

さらに、首相は今回「できるだけ幅広い合意が得られると確信している」とも指摘。「できるだけ」という限定的な表現は、改憲に反対する野党の理解が得られなければ、最終的に改憲勢力だけで改憲原案づくりを進めることも視野に入れているように映る。

■距離を置く

一方で自民党は、野党が求める国民投票法改正案の審議 を憲法審で先行させるなど、当面は円満に進めていくとい う発信に努めている。最初から強引に進めて世論を敵に回 すのは得策でないからだ。首相に近い閣僚経験者は「まず は憲法審をどう動かし続けるかを戦略的に考える」と話す。 しかし、他党は二十四日、改憲から距離を置く言動が目 立った。

公明党の山口那津男代表は両院議員総会で、臨時国会の 重要課題として災害対策などを訴えたが、改憲には一言も 触れなかった。

立憲民主党の枝野幸男代表は、首相演説に関し「首相は 憲法の改定に権限を持っていない。意味のない妄言だ」と 記者団に指摘。国民民主党の玉木雄一郎代表も記者会見で 「権力者が描きたい夢を書き込むのが首相の憲法観だとよ く分かった」と厳しく評価した。



しんぶん赤旗 2018年10月25日(木)

安倍首相 改憲へ強い執念 所信表明演説 三権分立侵 す呼びかけ

安倍晋三首相は24日の衆参本会議で行った所信表明演説で、憲法改定について「憲法審査会で政党が具体的な改正案を示すことで、国民の理解を深める努力を重ねていく」と述べ「国会議員の責任を果たそう」と呼びかけ。自民党案を国会提示するなどの改憲論議の進展に強い執念を示しました。

世論調査で国民の多数が自民党案の提示に反対する現状を無視し、憲法の定める三権分立を侵して立法府に改憲の 号令をかける重大発言です。

日本共産党の志位和夫委員長は記者会見で「無法なやり 方で国会に憲法改定を押し付けてくるやり方は、論外であ り、言語道断だ」と批判しました。

しんぶん赤旗 2018 年 10 月 25 日(木)

首相の所信表明演説 安倍政治大破綻 ごまかし終始

国民にはまともな説明もなしに、失政とさらなる悪政の ごまかしに終始した24日の安倍晋三首相の所信表明演説。 安倍政権が進める政治路線があらゆる面で大破綻している ことが明白になっているにもかかわらず、それにまともに 向き合わず、取り繕うだけの政治姿勢はもはや限界です。 安倍政権の足元は、すでに土台から揺らいでいます。

強権政

治 沖縄の審判に反省なし

県選は城一歴圧沖知挙、デ氏史 の的勝



(写真) 所信表明演説をする安倍晋三首相= 24日、衆院本会議

で、名護市辺野古の米軍新基地建設反対の民意が示されま した。数におごり民意を踏みつけにしてきた安倍政権の強 権政治はもはや通用しなくなっています。

所信表明演説では、安倍首相がこれまで触れてきた辺野古新基地建設には触れず、「沖縄の皆さんの心に寄り添い、安倍内閣は、基地負担の軽減に、一つひとつ結果を出していく」と力なく述べるだけでした。しかし、安倍政権は、行政不服審査法を悪用して、辺野古埋め立て承認撤回への対抗措置を取り続けるなど、民意を無視した新基地建設を諦めようとはしていません。

安倍首相は、森友・加計問題でも、国政私物化疑惑に対する国民の怒りを理解せず、「長さこそが、継続こそが、力である。そう思っていただけるよう、一層、身を引き締めて政権運営に当たる」と無反省の態度を取り続けています。

安倍首相は、原敬元首相の「常に民意の存するところを 考察すべし」との言葉を引用しましたが、その言葉と一番 遠いところにあるのが安倍首相の政治姿勢です。

安倍首相が本当に「民意」を「考察」するというなら、 権力を私物化し、情報を隠蔽(いんぺい)、改ざんしてきた 自らの強権政治の破綻を認め、真摯(しんし)に反省する ことこそ必要です。

外交 安保 北朝鮮も領土も大失熊

安倍首相は北東アジアに残る「冷戦時代の構造」を解決するために「戦後日本外交の総決算を行う」と打ち上げました。所信表明演説はこれまでの外交上の大失態を成果としてごまかすばかりで、議場では非難の声が噴出しました。安倍首相は米朝首脳会談を評価し「金正恩(キム・ジョンウン)委員長と向き合わなければならない」と、北朝鮮との国交正常化と拉致問題の解決を目指すと述べました。

圧力の必要性や「脅威論」を封印した背景には、各国が 北朝鮮との対話や信頼醸成を進める中で日本だけが取り残 された焦りがみえます。朝鮮半島の緊張をあおるばかりだ った態度への無反省ぶり、「脅威」を口実とした軍事費の増額やミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の導入といった軍事政策の破綻が浮き彫りになりました。

安倍首相はロシアとの領土問題を解決し、日ロ平和条約を締結すると明言。先月の首脳会談でプーチン大統領が領土問題を棚上げに年末までの平和条約締結を迫ったのに対し、安倍首相はその場で反論しませんでした。領土要求の全面放棄に突き進む危険があります。

外交の基軸は日米同盟で、日米物品貿易協定「TAG」が交渉開始を合意したと誇りました。「TAG」がトランプ 米政権にFTA(自由貿易協定)交渉を押し切られた実態 を隠すための造語にすぎないことは、国内外で周知の事実 です。日本の食料主権、経済主権を投げ捨てた安倍首相に 外交を語る資格はありません。

経済政策 消費税10%に非難の嵐

大企業には減税をばらまきながら、その穴埋めに消費税 増税をあてる安倍政権の経済政策の破綻は明瞭です。

安倍首相は来年10月から強行しようとしている消費税10%増税について「経済に影響をおよぼさないよう、あらゆる施策を総動員する」と述べるだけ。しかし、そもそも安倍政権の経済政策のもとで、いま労働者の実質賃金は18万円も減っており、消費不況が続いています。

安倍首相が10%増税に伴う「景気対策」の目玉として 打ち出したクレジットカードによる「ポイント還元」には "高齢者や子どもなど利用できない人がいる"などの非難 がごうごう。複数税率にあわせて「インボイス」(適格請求 書)を導入することも、500万を超える事業者が大打撃 となるもので、中小企業などがこぞって反対しています。

安倍首相は経済への影響を心配するのなら、きっぱり増 税中止こそ決断すべきです。

一方、社会保障について安倍首相は「子どもから現役世代、お年寄りまで、全ての世代が安心できる社会保障制度へと、今後3年かけて改革を進めます」と語りました。

ただ安倍政権はこの6年間、高齢化などに伴う社会保障 費の自然増分だけで計1兆6千億円も削減してきた政権で す。さらに最近も財務省が、医療や介護、子育て分野で給 付抑制・削減する改悪メニューを示しており、「安心」どこ ろか、全世代に痛みを押し付けようとする「改革」にほか なりません。

改憲固執 国会論議に露骨な介入

安倍首相は「憲法審査会において、政党が具体的な改正 案を」と立法府に対し、号令をかけました。国会での改憲 論議について各党に号令をかけるなど、三権分立に対する 露骨な介入です。

そもそも、改憲論議の中身以前の問題として、安倍首相 自身が憲法99条が定める憲法尊重擁護義務を果たしてい ません。安倍首相は、自衛隊の幹部を前に公然と9条改憲 の持論を主張。実力組織を自らの野望実現の道具にする危 険性すら自覚していない安倍首相には、そもそも憲法を語 る資格すらありません。

ましてや、どの世論調査でも、今国会に自民党の改憲案 を提出することに反対する声が多数を占めています。国民 多数が反対しているのに無理やり改憲を進めるのは、立憲 主義を踏みにじる憲法破壊の策動に他なりません。

自民・伊吹氏、安倍首相の呼び掛け疑問視=改憲めぐり各派幹部発言

自民党各派閥の25日の例会で憲法改正に関する発言が 相次いだ。二階派の伊吹文明元衆院議長は、安倍晋三首相 が所信表明演説で党改憲案の国会提示に意欲を示し、「国会 議員の責任を共に果たしていこう」と呼び掛けたことにつ いて、「首相が国会にああいうことを言うことはいいのかな という感じはした」と疑問を呈した。

伊吹氏は「焦燥感が首相の腹の中にあると思う。行政府の長にとやかく言われず、国会議員の判断として議論する雰囲気をつくっていかないといつまでたってもできない」とも語った。

石原派の石原伸晃元幹事長は自民党案について「あまり 評判が芳しくない」と指摘。「わが党の案が国民の理解を深 めることにつながるのか、もう一度慎重に掘り下げていく 必要がある」との認識を示した。

石破派の石破茂元幹事長は「(安倍) 総裁の考えをきちんと聞きたい」と述べ、党所属国会議員への説明の機会を設けるよう改めて求めた。(時事通信 2018/10/25-16:44)

「憲法改正、安倍首相に焦燥感あると思う」自民・伊吹氏 朝日新聞デジタル 2018 年 10 月 25 日 17 時 29 分



伊吹文明 • 元衆議院議長

伊吹文明 · 元衆院議長 (発言禄)

(所信表明で安倍首相が憲法改正について、「国会議員の 責任を果たしていこう」と述べたことについて) 内閣総理 大臣は国会に対してああいうことを言うのはいいのかなと いう感じはしたけれども、彼の気持ちを忖度(そんたく) すると、憲法改正は憲法のどこを読んでも内閣総理大臣は おろか内閣には決定権や提出権はなんらありません。すべ て皆さん(国会議員)にゆだねられている。自民党の綱領 で新憲法の制定と言っている党に属して公認をもらって、 3分の2(近く)を持っているのに一体何をしているんだ っていう焦燥感が安倍晋三の腹の中にはやっぱりあるんだ なと思うんですね。 (25日、派閥の例会で)

自民党 改憲へ「首相は焦燥感」 伊吹氏がそんたく 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 21 時 51 分(最終更新 10 月 25 日 21 時 51 分)

自民党の伊吹文明元衆院議長は25日の二階派会合で、 安倍晋三首相が24日の所信表明演説で憲法改正の論議加速を与野党に呼びかけたことについて「新憲法制定を綱領で言っている党に属し、(与党で)3分の2(の議席)を持っているのに一体何をしてるんだ、という焦燥感が安倍晋三の腹の中にある」と述べて首相をそんたく。「首相が国会に対して言うのはいいのか、という感じはした。内閣には(憲法の)決定権や提出権はない。全て皆さんに委ねられている」と述べ、出席議員に奮起を促した。

一方、石原伸晃元幹事長は自派会合で、自衛隊明記など 4項目の自民党条文案について「国民の理解を深めること につながるか慎重に掘り下げる必要がある。かなり評判が 芳しくない」と指摘した。【竹内望】

自民各派 憲法改正に慎重議論求める意見

NHK2018年10月25日15時32分

安倍総理大臣が 24 日の所信表明演説で、憲法改正に重ねて意欲を示したことについて、自民党の派閥の会合では、 国民の理解が得られるよう慎重に議論すべきだといった意 見が出されました。

このうち、石原元幹事長は「踏み込んだ印象を強く持った。 国会の憲法審査会に自民党の改正案を示すということだが、 4項目の案はあまり評判がよくないのも事実だ。国民の理解を深められるよう慎重に掘り下げる必要があるのではないか」と指摘しました。また、石破元幹事長は「安倍総理大臣は総裁選挙で、憲法について自民党議員の前できちんと話したいと言っていたので、ぜひ実現してもらいたい。 きちんと議論し、党としてまとまって国会に臨むことが必要だ」と述べました。

さらに、逢沢元国会対策委員長は「憲法は、これまで細心 の注意を払いながら議論を積み重ねてきた。もう一度それ をしっかり踏まえたうえで対応していくことが必要ではな いか」と指摘しました。

一方、伊吹元衆議院議長は「総理大臣の発言としていいのかという感じもしたが、安倍総理大臣には焦燥感があるのだろう。行政の府の長にとやかく言われずに、議員の判断で議論する雰囲気をつくらなければならない」と述べました。

日本人拘束、繰り返される「自己責任論」 背景に何が 朝日新聞デジタル 2018 年 10 月 25 日 20 時 49 分





講演する安

田純平さん=2004年、北海道

シリアで武装勢力に捕らわれていたフリージャーナリストの安田純平さん(44)に対し、「自己責任論」に基づく批判がネット上などに出ている。かつてイラクで起きた日本人拘束事件でも苛烈(かれつ)なバッシングが吹き荒れた。こうした批判が噴き出す背景には何があるのか。

解放の可能性が伝えられた23日夜から、ツイッターの 安田さんのアカウントには、「どれだけ国に迷惑をかけたの か」「何があっても自己責任の覚悟で行ってくれ」と突き放 す書き込みが寄せられた。紛争地での取材にこだわってき た安田さんを「エセ戦場ジャーナリスト」と揶揄 (やゆ) するものも。日本政府は身代金の支払いを否定しているが、「身代金、俺たちの税金」と決めつけるものもあった。

こうした批判に、都内在住のシリア人ジャーナリスト、 ナジーブ・エルカシュさん(44)は「紛争地での取材は 危険を伴う勇気ある行為。現地の真実を伝えてくれるのは シリア人としてありがたい」という。

「難民問題などの現場では、そこにいる人たちの様子や 思いを伝えることにこそ意義がある」と安田さんの活動を 評価し、「たとえ正当な取材活動でも、政府や組織の方針か ら外れて独立して動く人をすぐバッシングしてしまう。そ うした現状を見つめ直してほしい」と訴える。

自己責任を持ち出す批判は、2015年の過激派組織「イスラム国」(IS)による日本人殺害事件の際にも出た。04年にイラクで拘束された日本人3人に対しても投げかけられた。

高遠菜穂子さん(48)は、ス…

安田さん解放 「自己責任論」再燃 擁護する声も 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 19 時 29 分(最終更新 10 月 25 日 21 時 29 分)



成田空港に到着し、飛行機から降りて車に向かう安田純平さん(中央)=2018年10月25日午後6時36分、

小川昌宏撮影

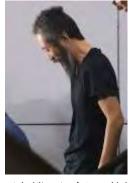
安田純平さんがシリアに入国したのは「自己責任だ」と するバッシングがネット上で再燃している。

報道カメラマンの横田徹さん(47)は「自己責任論をメディアが過剰に取り上げるのが問題だ」と指摘する。横田さんは14年に過激派組織「イスラム国」(IS)の前身組織の拠点だったシリア北部ラッカに潜入するなど、危険な地域で取材を続けてきた。「海外メディアに任せればいい」との意見もあるが、「国籍は関係ない。安田さんにしかできない仕事がある」と強調する。

国際テロ情勢に詳しい公共政策調査会の板橋功・研究センター長は「政府には邦人保護の義務があり、拘束されれば必ず救出に向けて動く」と指摘した上で、「取材者は紛争地入りを『自己責任』だと考えていても、拘束されれば政府が対応することになる。紛争地取材の重要性は否定しないが、信頼できる現地コーディネーターの選定やセキュリティー、誘拐保険などの安全対策をきちんと取るのが取材者の最低限の責任だろう」と話した。【金子淳】

安田さん解放 過去に拘束も、紛争地取材の意義訴え現場

毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 19 時 23 分(最終更新 10 月 25 日 23 時 28 分)



飛行機から降りて笑顔を見せる安田純平さん=成田空港で 2018年10月25日午後6時36分、梅村直承撮影

安田純平さんは信濃毎日新聞(長野県)記者を経てフリージャーナリストになった。中東の紛争地を中心に取材し、著書や講演で報告してきた。

2004年4月にはイラクで武装勢力に拘束され3日後に解放された。戦闘状態が続き治安が悪化しているとして、外務省が退避勧告を出し、渡航を見合わせるよう呼び掛けていたこともあり「自己責任」と批判された。

こうした声に対し、安田さんは当時の体験などをまとめた著書「囚われのイラク 混迷の『戦後復興』」(現代人文社)で「本人の意思にかかわらず救出活動をしなければならないのが国家であり、『国家の在り方論』は『自己責任論』という言葉で行うべきものではない」と反論。そして「私は彼らの声を伝えたいと思っているだけだ。武装組織だけでなく、イラクで出会った多くの人々の姿を知ってほしい」

と取材への思いを明かしていた。

安田さんはその後も現地で取材を続けた。 07年にはイラク軍訓練基地建設現場に料理人として潜入した。その後、出版した「ルポ 戦場出稼ぎ労働者」(集英社新書)では、紛争地取材の意義を「戦争を知っている日本人が年々減っていく中で、現場を知る人間が増えることは、空論に踊らないためにも社会にとって有意義だ」と記していた。【福島祥】

安田さんの妻「温かいお風呂に入って」=成田空港で会見



安田純平さんの日本帰国を受け、記者会見する妻で歌手の 深結 (Myu) さん=25日午後、成田空港

「温かいお風呂に入り、布団で寝てほしい」。3年4カ月 ぶりに解放されたジャーナリスト安田純平さん(44)の 妻深結 (Myu) さんが 25 日夜、成田空港で記者会見し、 安田さんと再会した際の様子や思いを語った。

「先ほど無事に対面できました。皆さんにご迷惑とご心配をかけ、家族として改めておわびを申し上げます」。冒頭、涙を浮かべて深くお辞儀をした後、「長い監禁生活で別人のようにやせていた」と説明した。



帰国したフリージャーナリストの安田純平さん(右手前) と写真に納まる妻の深結(Myu)さん(左手前)、安田さんの父英昭さん(右奥)と母幸子さん=25日午後、成田 空港(深結さん提供)

深結さんによると、深結さんと両親らは空港内で約15 分間、安田さんと面会。安田さんが廊下に見えた瞬間、深 結さんが駆け寄って抱きつき、「お帰りなさい」と声を掛け ると、安田さんは照れて「ただいま」と笑顔で応じた。そ の後はスマートフォンで写真を撮ったり、母の作ったおに ぎりやきんぴらごぼうを食べたりしたという。

今後について問われると「家族と一緒においしいご飯を 食べて、笑って暮らせる普通の日常が願いです」としんみ りした様子で語った。

安田さんは空港に到着した際、黒の半袖シャツにグレーのズボン姿。「一言お願いします」との記者の質問には答えず、足早に階段を降りていった。(時事通信 2018/10/25-21:58)

安田さんが帰国=妻「お帰りなさい」に笑顔-拘束状況聴 取の意向・警察当局



帰国したジャーナリストの安田純平さん=25日午後6時 37分、成田空港

シリアで3年4カ月間拘束され、解放されたジャーナリストの安田純平さん(44)が25日夕、イスタンブールから成田空港に到着した。警察当局は今後、安田さんの健康状態などを見計らった上で拘束の状況などについて聞き取りする方針。

成田空港で会見した安田さんの妻深結(Myu)さんによると、帰国後、同空港で15分ほど面会。安田さんは体力が落ちてやせたように見えたが、深結さんが抱き付いて「お帰りなさい」と話すと、笑顔で照れた様子だったという。

解放を支援した弁護士によると、安田さんの会見は体調を考慮した上で後日行う予定。深結さんによると、安田さんも「大変お騒がせしたが無事に帰国できた。(起きたことを)可能な限り説明する責任がある」と話しているという。また、自身を「私はウマルです。韓国人です」と話した理由について「そこに日本人がいると分かると拘束している人たちの場所、身元が分かるから」と説明したという。



フリージャーナリストの安田純平さんの日本帰国を受け、 記者会見する妻で歌手の深結(Myu)さん=25日午後、 成田空港

安田さんは2015年6月、取材目的でトルコ南部アンタキヤから内戦下のシリア北部に徒歩で入った直後、武装勢力に拘束されたとみられる。シリア反体制派を支援してきたカタールが交渉の仲介役を担ったとみられ、今月23日に解放が発表された。

安田さんは、保護されていたアンタキヤの入管施設を2 4日夜(日本時間25日未明)に出て、経由地のイスタン ブールの空港を25日未明(同同日午前)に出発した。日本政府によると、健康状態に特段の問題はないという。(時事通信2018/10/25-21:34)

安田さんの妻、感謝繰り返す 成田空港内で記者会見 共同通信 18/10/25 22:17



安田純平さんの帰国を受けた記者会見で、うつむく妻の深 結さん=25 日午後、成田空港

3年以上も安否が分からず、離れ離れになった安田純平 さん(44)と再会した妻で歌手の深結さんは25日、成田 空港内で記者会見し、涙目で声を詰まらせながら「ありが とうございました」と感謝の言葉を繰り返した。

「先ほど、無事に安田と対面できました」。会見の冒頭、深結さんの声は震えていた。安田さんは同席せず、「可能な限り説明をする責任があると思っている。折を見て対応をさせてもらうので、今日のところはご理解ください」との本人の言葉を読み上げた。

ジャーナリスト安田純平さん帰国 「虐待状況だった」 共同通信 8/10/26 01:03



約3年4カ月ぶりに解放され、成田空港に到着した安田純 平さん=25日午後6時36分

内戦下のシリアで2015年6月に拘束され、約3年4カ月ぶりに解放されたジャーナリスト安田純平さん(44)が25日夕、一時滞在先のトルコから空路で帰国した。機内で共同通信の取材に応じて「拘束後は虐待としか言いようがない状況だった。暴力を受けた」「可能な限り何があったか説明したい」と話した。

安田さんは「武装勢力の機嫌が悪いと、缶詰を出しても 缶切りは渡されなかった」とも述べた。警察当局は健康面 に問題がないことを確認後、シリアの武装勢力に拘束され た経緯などについて事情を聴く方針。過酷な拘束状況の解明、検証が今後の焦点になる。



約3年4カ月ぶりに解放され、トルコから日本に向かう機 内で共同通信の取材に応じる安田純平さん=25日(共同)

安田さん解放 「ただいま」 安田さん、家族と再会 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 21 時 44 分(最終更新 10 月 25 日 23 時 35 分)



帰国し両親(後方)や妻深結さん(前列左)と再会した安田純平さん=成田空港で2018年10月25日午後、深結さん提供

「おかえりなさい」。成田空港内の廊下に夫の姿が見えた瞬間、妻は駆け寄り、抱きついた。シリアで武装勢力に拘束されていた安田純平さん(44)が約3年5カ月ぶりに帰国した。妻で歌手の深結(みゅう)=Myuから改名=さんと両親が出迎え、安田さんは照れたように笑って「ただいま」と答えたという。【福島祥、川上珠実】

空港内で安田さんは深結さん、父英昭さん (78)、母幸子さん (75) と 15 分程度対面。家族との再会に安堵(あんど)したのか、安田さんは幸子さんの手作りのおにぎりときんぴらごぼうをほおばったという。

対面の様子は、直後に空港内で1人で記者会見した深結 さんが報道陣に説明した。安田さんの様子について、「本当 に痩せていました。見た瞬間、かなり痩せていた」と語り、

「当たり前の幸せを感じた。ご飯を食べて笑えて暮らせる のが本当の願い」と話した。

安田さんが拘束時に公開された映像で「韓国人」と話したことについては「日本人だと分かると拘束している人たちの身元や(拘束)場所が分かるから」と説明。「(人質の間などで)日本人ということや、名前を言ってはいけなかった。しんどかった」との安田さんの言葉を伝えた。

今後も安田さんが紛争地での取材を続けるかどうかにつ

いては、深結さんは「本人の意思を尊重したい。今は何も考えておらず空白のようだ」と話した。

深結さんは「たくさんのみなさんにご心配をかけ、ご迷惑をかけ改めておわび申し上げます」と頭を下げた。



安田さんはトルコ航空の機内では、険しい表情で一点を 見つめ、抑揚のない調子で過酷な日々を振り返った。

「食事や衣服など生活を取り巻く全ての環境が、拘束した彼ら次第でひどくなった」と話す安田さん。目を見開き、「半年以上も水浴びをさせてもらえなかったり、缶詰をもらっても缶切りをもらえなかったりした」と、行動を厳しく制限された様子を打ち明けた。

トルコ南部アンタキヤからイスタンブールを経て帰国する機内でもNHKなどの取材に応じ、シリア北西部イドリブ県などで「殺されるかもしれない」と感じた「独房」の日々を振り返った。

「地獄だった」「今日も帰されないと考えるだけで日々、だんだんと自分をコントロールできなくなってくる」。前かがみの姿勢で「監禁されている独房の中にいるという状況が当たり前の生活のように感じ始め、非常につらかった」と言葉を選びながら語った。

拘束中は「足を伸ばして寝てはいけない。範囲が1.5 メートルだけ。それが24時間」という状態が8カ月ほど 続いたこともあったという。

安田さんの拘束から解放までの経緯

2015年

6月 安田さんがトルコからシリアに入国。23日に友人 にSNSで連絡を取った後、音信が途絶える

16年

3月 安田さんとみられる動画がインターネット上に公開される

5月 「助けてください」と訴える安田さんとみられる画像が公開される

18年

7月 銃を持った男2人と安田さんとみられる動画が公開される

8月 妻が記者会見し、政府に救出を求める

10月23日夜 カタール政府から日本政府に安田さんを保護したとの連絡が入る

10月24日 日本政府が安田さん本人と確認

安田純平さん帰国 拘束3年余「お騒がせした」

日経新聞 2018/10/25 18:22 (2018/10/25 20:52 更新)

内戦下のシリアで2015年6月に拘束され、約3年4カ月 ぶりに解放された日本人ジャーナリスト、安田純平さん (44) が25日夜、一時滞在していたトルコから空路で帰国した。「大変なお騒がせと心配をおかけした」などとする コメントを公表。 改めて記者会見する意向を示した。 拘束

と解放の経緯がどこまで明らかになるかが注目される。



帰国後、成田空港で再会した安田純平さん(右)と妻の深結 (Myu) さん。後列は父の英昭さんと母の幸子さん(25 日) =Myu さん提供

警察当局は邦人が海外で犯罪被害にあった場合に適用される刑法の国外犯規定に基づき、安田さんから経緯を聴取するとみられる。武装勢力の組織の内情に加え、ほかに捕らわれていた外国人がいなかったかどうかなどを確認する。安田さんは25日午後6時半ごろ、一時滞在していたトルコ南部からイスタンブールを経て、成田空港に到着した。安田さんは一般客と別ルートで航空機に横付けされたタラップに姿を見せると、階段をしっかりした足取りで下り、やや速足で車に乗り込んだ。半袖の黒いTシャツ姿。白髪交じりの髪は短く刈られていたが、あごひげは長く伸びていた。表情からはリラックスした様子もうかがえた。

安田さんは空港内で妻で歌手の深結(Myu)さんや両親と 再会を果たした。深結さんは記者会見し「大変なお騒がせ と心配をおかけした。おかげさまで無事帰国できた。可能 な限り説明をする責任があると思っているので、折を見て 対応する」とする安田さんのコメントを読み上げた。



帰国したジャーナリストの安田純平さん(25 日、成田空港) =時事

深結さんによると、安田さんは母親が作ったおにぎりときんぴらごぼうをうれしそうに食べたという。深結さんが「紛争地域の取材をまだ続けたいか」と尋ねると「今はもう何も考えていない」と答えた。

安田さんは 15 年 6 月、取材のためにトルコ南部ハタイ県から内戦下のシリア北西部に入った直後、消息を絶った。武装勢力に拘束されたとの見方が広がるなか、16 年 3 月に安田さんとみられる男性が英語でメッセージを読む映像がインターネット上に公開された。今年 7 月にも安田さんとみられる男性が「助けて」などと語る複数の映像が公開さ

れた。

日本政府に 23 日夜、安田さんとみられる男性が解放されたとの情報がカタールから寄せられ、24 日に一時滞在していたシリア国境に近いトルコ南部アンタキヤの入管施設で、本人と確認された。安田さんは 24 日に地元政府が公開した映像で「今トルコにいて安全です。ありがとう」と落ち着いた口調で話した。

帰国の機内では、拘束生活を「地獄だった」と振り返り、 帰国を喜びながらも「これからどうしていけばいいか分からない」と、安堵と戸惑いに揺れる心情をロイター通信な どに語っていた。

安田さんは元信濃毎日新聞記者。03 年に退社してフリージャーナリストに転じ、紛争地域の市民の姿を著作や講演を通じて伝えてきた。04 年にもイラクで拘束され、数日後に解放されたが、その後もイラクやシリアでの取材を続けてきた。

安田さんから**事情聴取へ 警察、国外犯規定基づき** 共同通信 10/25 20:03

武装勢力から解放されて帰国したジャーナリスト安田純平さん(44)に対し、健康面に問題がないことを確認後、警察当局が詳しい事情を聴く方針であることが25日、捜査関係者への取材で分かった。約3年間にわたって拘束された経緯を把握するほか、関与した武装勢力の特定を進める。

捜査関係者によると、邦人が海外で犯罪の被害を受けた場合に国内で訴追できる刑法の国外犯規定に基づき、逮捕 監禁容疑などの適用を検討する。安田さんが拘束された状況や武装勢力の内情のほか、拘束中の生活環境、ほかの外 国人人質の有無なども確認するとみられる。

安田純平さん拘束、警察が捜査検討 刑法の国外犯規定で 朝日新聞デジタル 2018 年 10 月 25 日 23 時 55 分

警察当局がシリアで拘束され3年4カ月ぶりに解放されたフリージャーナリスト安田純平さん(44)から事情を聴き、拘束に至る経緯などについて捜査することを検討していることが、捜査関係者への取材でわかった。本人の意向や健康状態を確認したうえで、刑法の国外犯規定に基づき、略取誘拐や逮捕監禁容疑などを視野に捜査に着手したい考えだ。警視庁が担う方向で調整を進める。

妻の姿見えた瞬間抱き合い「ただいま」 安田さん帰国 朝日新聞デジタル河崎優子、国吉美香、吉沢英将 清水大輔 2018年10月25日21時19分

安田さんが乗ったトルコ航空機は25日午後6時半、成田空港の駐機場に到着した。約5分後、安田さんが搭乗ブリッジの途中に設けられた階段を下り、報道陣の前に姿を見せた。

黒いTシャツ姿。頭髪と長く伸びたひげには白いものが 目立った。報道陣の呼びかけには応じず、ワゴン車に乗り 込んだ。



帰国直後、出迎えた妻の深結さ

ん (手前左) や両親 (後列) と再会を喜び、おにぎりなど の食事をとる安田純平さん(2018年10月25日午後、 深結さん提供)



帰国した安田純平さんは、成田空港で家族と再会を喜び合った。

妻で歌手の深結(みゅう〈Myu〉)さんは、空港内の待合室で午後7時半すぎから報道各社の取材に応じた。涙ぐみながら頭を下げ、「先ほど無事に安田と対面できました。たくさんの皆さんにご心配をかけ、ご迷惑をかけ、この場を借りておわび申し上げます」と話した。

続いて、安田さんの「おかげさまで無事、帰国できました。可能な限りの説明をする責任があると思います。折を見て、説明させていただきます」というメッセージを紹介した。

空港の廊下で互いの姿が見えた瞬間、駆け寄って抱き合い、「おかえりなさい」「ただいま」と声を掛け合ったという。

安田さんの様子については「長い監禁生活で体力が落ちているようです。かなりやせていました」と明かした。安田さんの母親が作ったおにぎりやきんぴらごぼうをおいしそうに食べたといい、「あたたかいお風呂に入って、お布団で寝て欲しい」と夫を気遣った。

今後も紛争地での取材を続けるのか。深結さんが尋ねると、安田さんは「今は何も考えていない」と答えたという。 (河崎優子、国吉美香、吉沢英将)

3年間の拘束 PTSDに似た症状も

「紛争地で3年間も拘束されるというのは非常に特異。 帰国後の環境を含めた長期的なケアが必要になる」。自衛隊 中央病院で精神科部長を務めた福間詳さん(61)はそう 指摘する。 安田さんは、銃撃など死に直結する恐れのある「単発的な強いストレス」と、食事制限や虐待などで自由や希望を失う「慢性的なストレス」を同時に経験した可能性がある。これはベトナム戦争の帰還兵などに見られた複合的なPTSD(心的外傷後ストレス障害)の要因に類似するという。

「現状の様子だけで『問題ない』と判断せず、注意深く 詳細に3年間の状況把握をする必要がある」と話す。

帰国後の環境も大事という。「状況は異なる」と前置きした上で、イラク・サマワに派遣された自衛隊員を診察した際、帰国後にPTSDの症状が見られた事例を挙げる。

現地では、宿営地近くにロケット弾が飛んでも、強い緊 張感のなかで恐怖を感じることは少ない。むしろ帰国後に 戻った日常との「落差」が要因となった可能性があるとい う。戦時中に米軍の捕虜となった福間さんの父親も、日常 への復帰に二十数年を要したという。

休養や家族らのケアも大事だが、福間さんは、安田さん がジャーナリストである点を踏まえて「何もしないでいる よりは、体験を整理して書き起こすなど、これまでの活動 も維持して、徐々に日常に近づけた方がいい」という。(清 水大輔)

身動きできず嫌がらせも…安田さん3年4カ月の拘束語

朝日新聞デジタル下司佳代子 2018 年 10 月 25 日 12 時 25 分





安田純平さんは入国管理施設からハタイ空港に到着し、係 官に付き添われて建物に入った=2018年10月24日、 トルコ・アンタキヤ、其山史晃撮影

シリアの過激派組織による拘束から解放された安田純平 さんが25日、トルコ・イスタンブールから日本へ帰国す るトルコ航空の機内で朝日新聞の取材に応じ、「自由になれ たのは本当にうれしいです」と語った。

安田さんは、黒いTシャツにサンダル姿。エコノミークラスの通路側に座っていた。頭髪は短く整えられているが、ひげが長く伸びた状態。少し疲れたような表情だが、健康状態はほぼ良好とみられ、はっきりした口調で取材に答えた。

3年4カ月間の拘束生活のうち、約8カ月間は高さ1・5メートル、幅1メートルの独房に監禁されたという。「虐待状態がずっと続いていた。精神的な負担もかなりあった」と説明した。

2016年からは「解放する」と連日言われたが、独房

の両側に見張り役がいて、1日24時間身動きができなかったという。「何一つ音を立ててはいけない。指を動かして関節がなったらダメ。寝ている間に体が動いてもダメ」。過酷な環境をそう振り返った。

「食事が来ないとか、缶詰が来ても缶切りを持ってこないとか、そういう嫌がらせがあった」とも。目の前で別の 監禁被害者とみられる人が暴行される現場も目撃したという。

体調の異常は感じていない。ただ、拘束生活で「筋肉が すっかり落ちてしまい、疲れやすくなっている」「拘束前と 今とでは体が全然違う」と話した。

7月にネット上に投稿された映像の中で、「私はウマルです。韓国人です」などと不可解な発言をした点については、「自分の本名や日本人であることは言うなと(犯行グループに)要求された。他の囚人(監禁被害者)が釈放された後に監禁場所を世間にばらしたら、攻撃されるかもしれないからだ」と説明した。

安田さんは、日本時間25日夜に成田空港に到着する。 帰国後は「まず家族に会いたい」と話した。

解放直後に保護された、トルコ南部アンタキヤからイスタンブールに向かう国内便の機中でも、報道陣の取材に応じた。ロイター通信によると、安田さんは「これから何が起きて、何をすべきかまだわからない。今後すべきことを考えているところだ」などと語った。また、テレビ朝日の取材では、「日本国民も心配だったと思うが」と問われ、「ありがとうございます」と答えた。(下司佳代子)

「動けないゲーム、命じられた」安田純平さんの発言詳報 朝日新聞デジタル下司佳代子 2018 年 10 月 25 日 18 時 37 分





日本に向け出発する安田純平さん=2018年10月25 日午前1時23分、イスタンブール、諫山卓弥撮影



内戦下のシリアでイスラム過激派組織に拘束され、3年

4カ月ぶりに解放されたフリージャーナリストの安田純平さん(44)が、25日午前2時(日本時間同日午前8時)ごろ、トルコ・イスタンブールから空路で帰国の途に就いた。安田さんは機内で断続的に朝日新聞記者の取材に答え、拘束中の日々を振り返った。

(おことわり) 原則として安田さんの言葉に忠実に掲載しています。話の順序については一部再構成しました。

【今の心境】

自由になれたのは本当にうれしい。筋肉がすっかり落ち、 非常に疲れやすくなった。特定のどこかがどうというわけ ではないんですが、体力が極度に落ちてしまっている。事 実上、虐待状態がずっと続いていた。精神的な負担もかな りありました。拘束前と今とでは体(の状態)が全く違う。

――戻ったらやりたいことは? ジャーナリスト活動は 続けますか?

3年間まったく情報がないので何もないです。日本で何かやれたらいいですけど、まったく何もない。浦島太郎なので。

家族と話をしたいとか、友人と会いたいというのはある。 あとは日本の中をいっぱい見て回りたい。せっかく日本に 住んでいるのに全く日本のことを知らない。日本から離れ るたびに日本のことが好きになる。食べたいものも、たく さんある。魚介類からスタートしたい。

---会見はしますか?

しなければいけないと思っている。1回、まとめて対応させていただきたい。20日間も絶食していて、何カ月も身動きしていない。かなりぼろぼろの部分もあって、体全体が極度に弱っている。影響をチェックした方がいいと思っている。

【拘束まで】

安田さんお帰りなさいと言いたい 帰国便に乗り合わせ た乗客たち

共同通信 8/10/25 22:22



25日、トルコ・イスタンブールから日本に向かう機内の安田純平さん(乗客提供・共同)

「お帰りなさいと言ってあげたい」。シリアで拘束され、3年4カ月ぶりに解放されたフリージャーナリスト安田純平さん(44)が25日、成田空港に到着し、同じ飛行機に

乗り合わせた乗客たちは帰国を歓迎した。

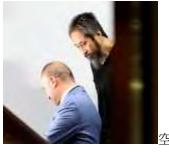
家族旅行から戻った助産師田村未来さん(34)は、機内 での安田さんの様子について「以前にテレビの映像で見た 時より髪の毛がさっぱりしていた。元気そうだった」と話 した。

田村さんによると、安田さんはエコノミークラスの通路側に座り、取材に落ち着いた様子で応じていた。「現地で助けてくれた人がいたのか」との問いに「名前は言えないが、そういう人がいた」と話していたという。

「喜び分かち合いたい」=安田さん解放で声明-新聞労連フリージャーナリストの安田純平さん(44)が解放されたことを受け、日本新聞労働組合連合(新聞労連)は25日、「同じ報道の現場で働く仲間の無事が確認された喜びを分かち合いたい」とする声明を出した。

一方で、安田さんや家族に「自己責任」と非難が浴びせられている状況に懸念を表明。「安田さんは困難な取材を積み重ねることで判断材料を提供してきたジャーナリストだ」とした上で、「『無事で良かった』『さらなる活躍を期待しているよ』と温かく迎える声が大きくなるような社会を目指して力を尽くす」と述べた。(時事通信 2018/10/25-18:16)

「安田さんの帰国、喜び合える社会を」 新聞労連が声明 朝日新聞デジタル 2018 年 10 月 25 日 19 時 45 分



空路で成田空港に到着したジャ

ーナリストの安田純平さん(右) = 2018年10月25 日午後6時36分、杉本康弘撮影

シリアで拘束されていたフリージャーナリストの安田純平さん(44)が解放されたことを受け、日本新聞労働組合連合は25日、「安田さんの帰国を喜び合える社会を目指して」とする声明を発表した。

声明では、犯行グループの行為を「言論の自由や表現の自由への挑戦」と非難した上で、「安田さんや家族に『反日』や『自己責任』という言葉が浴びせられている状況を見過ごすことができない」と懸念を示した。また、安田さんのこれまでの取材活動について、「日本社会や国際社会に一つの判断材料を提供してきた」と評価した。

安田さん、今夜帰国=「うれしい」 - トルコ出発

【イスタンブール時事】シリアで解放され、トルコ南部 アンタキヤの入管施設で保護されていたジャーナリストの 安田純平さん(44)は24日夜(日本時間25日未明)、 入管施設を出た。経由地のイスタンブールの空港を25日 未明(同25日午前)に出発し、帰国の途に就いた。日本 時間25日夜、成田空港に到着する予定。



24日、トルコ南部ハタイ県からイスタンブールに向かう 飛行機内の安田純平さん (中央) (ロイター時事)

安田さんは機内で、ロイター通信などに対して、帰国できて「うれしい」などと語った。また、これからどうなるのか、どうすべきか分からないとも述べた。

安田さんは入管施設から車に乗せられて出発し、飛行機に乗るまで記者団の問い掛けには一切答えなかった。トルコ南部ハタイ県の空港到着後、トルコ当局の係官に両脇から体を支えられるようにして、足早に出発ロビーに向かった。

菅義偉官房長官は25日の記者会見で、安田さんの健康 状態について「医務官がメディカルチェックを行った結果、 特段の問題はないと報告を受けている」と説明。帰国後の 事情聴取に関しては「本人や家族と相談しながら、適切に 対応していきたい」と語った。

安田さんは2015年6月に取材目的でアンタキヤからシリアに入った直後、武装勢力に拘束されたとみられている。今月23日、3年4カ月ぶりの解放が発表された。(時事通信 2018/10/25-11:47)

安田さん、日本へ「虐待続いた、自由うれしい」今夜帰国 朝日新聞デジタルイスタンブール=河原田慎一、下司佳代 子 2018 年 10 月 25 日 11 時 02 分





日本に向け出発する安田純平さん=2018年10月25 日午前、イスタンブール、諫山卓弥撮影

内戦下のシリアでイスラム過激派組織に拘束され、3年 4カ月ぶりに解放されたフリージャーナリストの安田純平 さん(44)が25日午前2時(日本時間同日午前8時) ごろ、トルコ・イスタンブールから空路で帰国の途に就い た。日本時間の同日午後7時ごろに成田空港に到着する予 定だ。

安田さんは現地時間24日午後6時半すぎ、解放後に保

護されたトルコ南部ハタイ県アンタキヤの入国管理施設を 車で出発。約30分後にハタイ空港に到着すると、数人の 係官に抱えられるようにして要人専用の入り口から空港建 物に入り、国内便でイスタンブール空港に向かった。同空 港で日本行きのトルコ航空機に乗り換えた。

安田さんは同機内で「虐待状態がずっと続いていた」と 拘束当時を記者に振り返りつつ、「自由になれてうれしい」 「家族に会いたい」と心境を語った。

安田さんの知人によると、安田さんは2015年6月下旬、内戦の取材のため、トルコ南部からシリアのイドリブ県に徒歩で渡った後、音信不通になった。拘束が明らかになったのは16年3月、インターネット上に安田さんとみられる男性の動画が投稿されてからだ。今年7月にも相次いで2回、動画が投稿され、安否が気遣われていた。

日本政府の要請を受けて過激派組織側と交渉してきたカタール政府が今月23日、安田さんが解放されたとの情報を日本側に伝達。安田さんが保護されていた入国管理施設で在トルコ日本大使館員らが24日に本人確認の面談を行い、安田さんと確認した。(イスタンブール=河原田慎一、下司佳代子)

安田純平さんが帰国 当時の心境は NHK10月25日18時23分



内戦が続くシリアで3年余りにわたって武装組織に拘束され、解放されたフリージャーナリストの安田純平さんが、 保護されていたトルコから成田空港に到着し、帰国しました。

シリアの武装組織による拘束からおよそ3年ぶりに解放されたフリージャーナリストの安田純平さんは、トルコ南部のアンタキヤからイスタンブールを経由して帰国の途につき、午後6時20分ごろ成田空港に到着しました。

安田さんは、帰国の途につく機内で報道陣に対し、3年以上にわたった拘束について「いつまで続くのかという恐怖感がずっとあって、いつ終わるのかわからないし、殺されるかもしれない。新しい情報が入らないので、昔のことばかり考えて、どうしてもネガティブなことばかり考える」と当時の心境を語りました。

また、拘束されている間は、長距離の移動はなく、反政府勢力の最後の主な拠点となったシリア北西部のイドリブ県にとどまっていたという認識を示しました。

安田さんの解放には、シリアの反政府勢力に影響力を持つ カタールやトルコが重要な役割を果たしたとされていて、 解放時の状況について、安田さんは「誰かが助けに来たのではなく、武装勢力がみずから車で国境まで運び、トルコ側が受け取った」と説明しました。

安田さんは、体調については「大丈夫」だと答えていて、 帰国後、拘束していた武装組織や、解放に至った経緯が明 らかになるか注目されます。

外務省 本人から話聞く方針

安田さんが帰国したことを受けて、外務省は今後、武装勢力から解放された経緯や3年間にわたった拘束の状況などについて、安田さん本人から詳しく話を聞きたいとしています。

外務省 渡航書を現地で用意

外務省によりますと、安田さんは武装組織に荷物を奪われ、 パスポートを所持していなかったため、海外でパスポート を盗まれたり、紛失した際に大使館などで発給される「帰 国のための渡航書」を現地で急きょ用意し、安田さんの帰 国の支援にあたったということです。

この渡航書は、外国から日本に帰るためだけに有効で、帰 国すると効力を失います。

安田純平さん成田に到着 機内で「まず家族に会いたい」 朝日新聞デジタル下司佳代子 2018 年 10 月 25 日 18 時 55 分



帰国便の中で記者の取材に応じる

安田純平さん=2018年10月25日、イスタンブール、 諫山卓弥撮影







内戦下のシリアでイスラム過激派組織に拘束され、3年4カ月ぶりに解放されたフリージャーナリストの安田純平さん(44)を乗せた飛行機が25日夕、成田空港に到着した。

安田さんは日本に向かう機内で朝日新聞の取材に応じ「自由になれたのは本当にうれしい。事実上の虐待状態がずっと続いていたので、体力が極度に落ちてしまった」などと話した。黒いTシャツにサンダル姿で、エコノミークラスの通路側に着席。少し疲れたような表情を見せたものの健康状態はほぼ良好とみられ、はっきりした口調で取材に答えた。

安田さんは3年4カ月間の拘束生活のうち、約8カ月間は高さ1・5メートル、幅1メートルの独房に監禁されていたという。「虐待状態がずっと続いていた。精神的な負担もかなりあった」と説明した。帰国後は「まず家族に会いたい」と話した。

安田さんの知人によると、安田さんは2015年6月下 旬、内戦の取材のためシリアに向かった。トルコ南部から シリア北西部のイドリブ県に徒歩で渡った後、音信不通に なったという。

16年3月に安田さんの拘束が明らかになり、インターネット上に安田さんとみられる男性の動画が投稿された。 髪やひげを伸ばした男性が英語で「私はジュンペイ・ヤスダです」「彼らから『メッセージを送っていい』と言われた」などと話した。今年7月にも相次いで2回、安田さんとみられる男性が映った動画が投稿された。(下司佳代子)

安田さん「私は韓国人」発言の真意語る 臆測呼んだ動画 朝日新聞デジタル下司佳代子、井上亮 2018 年 10 月 25 日 14 時 28 分



月にネット上で公開された動画では、安田純平さんが「私 はウマルです。韓国人です」などと話していた

内戦下のシリアでイスラム過激派組織に拘束され、解放されたフリージャーナリストの安田純平さん(44)は、7月にネット上で公開された映像のなかで、「私はウマルです。韓国人です」などと話し、臆測を呼んでいた。その真意について、安田さんが帰国フライトの中で取材に語った。

動画は7月31日にネット上で公開。約20秒のなかで、 オレンジ色の服を着た安田さんは「私の名前はウマルです。 韓国人です」「とてもひどい環境にいます。今すぐ助けてく ださい」と、かすれた声で訴えていた。背後には銃を持った覆面姿の男2人が立っていた。

「自分の本名や日本人であることは言うなと要求されていた」。安田さんは25日、帰国のために搭乗したトルコ航空機内で、記者にそう理由を説明した。

「他の囚人(監禁被害者)が、釈放された後に『あそこにニュースで出ている人質の日本人がいる』と言われたら、私の監禁場所が世間にばれて(犯行グループが)攻撃されるかもしれない」と説明。そのため、「『韓国人だと言え』と言われた」といい、従ったという。

「ウマル」というイスラム教徒の名前を名乗ったことに ついては、犯行グループから本名を名乗るなと言われたた め、自ら察して答えたという。(下司佳代子、井上亮)

イラクの基地で料理人したことも 安田さんの紛争地取 材

朝日新聞デジタル 2018年10月25日11時40分

安田純平さんは、中東の紛争地にこだわって取材を続けてきた。04年にイラクで武装勢力に拘束された体験をまとめた著書「囚(とら)われのイラク 混迷の『戦後復興』」では、紛争地に向かう理由を「私は彼らの声を伝えたいと思っているだけだ。武装組織だけでなく、イラクで出会った多くの人々の姿を知ってほしい」と記した。

また10年には「ルポ 戦場出稼ぎ労働者」を出版した。 イラク軍訓練基地などに約10カ月住み込んで料理人として働き、戦地の出稼ぎ労働者の実態や軍事分野で民営化が進む現状を取材したものだ。

紛争地に関心を向けるようになった契機は、01年の米同時多発テロだ。信濃毎日新聞の記者として働きながら、休暇を使ってアフガニスタンやイラクを取材。03年にフリーに転じてからも繰り返し訪れた。15年に過激派組織「イスラム国」(IS)に殺害されたジャーナリスト後藤健二さんとも親交があった。シリアで拘束中の昨年、一貫して紛争地に入って情報を発信してきたことが評価され、「第4回山本美香記念国際ジャーナリスト賞」特別賞が贈られた。

安田純平さん、トルコ閣僚と面会 帰国便搭乗前に空港で 共同通信 8/10/25 22:2110/25 22:23updated



日本への帰国便に搭乗前、トルコのバランク産業技術相(右) と空港で面会する安田純平さん=24 日、イスタンブール

(アナトリア通信提供・共同)

【アンタキヤ共同】シリアで拘束され、約3年4カ月ぶりに解放されたジャーナリスト安田純平さん(44)は24日夜、トルコ・イスタンブールの国際空港で日本に向かう航空機に搭乗する前、同国のバランク産業技術相と面会した。アナトリア通信が伝えた。

バランク氏は、イスタンブールから首都アンカラに戻る ため空港に来ていた。安田さんはエルドアン大統領やトル コの人々に感謝の意を示した。

安田さんは空港の VIP 用の部屋で日本大使館員と航空機を待っている際、バランク氏と会ったという。

なぜ突然解放? 仲介したカタール、過激派と太いパイプ 朝日新聞デジタル 2018 年 10 月 25 日 05 時 18 分



田純平さんが保護された入国管理施設を囲む報道陣=24 日、トルコ・アンタキヤ、渡辺丘撮影



3年余りに及ぶシリアでの拘束の末、突然のタイミングで解放されたフリージャーナリストの安田純平さん。急展開の背景には何があったのか。実行犯とされる過激派組織を追い込んだ戦況の変化だけでなく、仲介したカタールの

影響力も浮かび上がってくる。

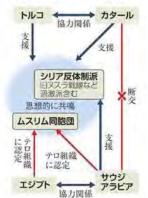
安田さんが滞在するのは、周囲を3メートル以上の壁に 囲まれたトルコの4階建て入管施設。シリア難民らが収容 されている。難民の親族を訪ねてきた女性(45)は24 日、「室内は清潔で食事もおいしいようだ」と話した。

シリアでの拘束から3年4カ月。日本やトルコの関係者は一様に、安田さんがこの時期に解放された理由を「過激派組織の焦り」とみる。シリア内戦はアサド政権が優勢を固め、反体制派の武装組織や「シャーム解放委員会」(旧ヌスラ戦線)などの過激派組織は、トルコ国境にある最後の大規模拠点・イドリブ県に追い詰められている。

政権側は今年4月以降、首都ダマスカス近郊や中部を制 圧してきた。7月には南部の反体制派拠点もほぼ奪還し、 イドリブ県の総攻撃を模索。安田さんの動画が2回にわた って公開されたのはそんな時期だった。

動画の中で、安田さんは過激派…

安田さん解放交渉、カギは「同胞団」 仲介役2国の思惑 朝日新聞デジタル翁長忠雄2018年10月25日08時00分 中東諸国とイスラム組織の関係



中東諸国とイスラム組織の関係

シリアでイスラム過激派組織に拘束されていたとされる フリージャーナリスト安田純平さん(44)の無事が24 日確認された。解放に協力した国として日本政府はトルコ とカタールに言及した。なぜ両国は人質解放の仲介役が可 能だったのか。イスラム組織「ムスリム同胞団」とのパイ プがカギを握る。(翁長忠雄)

「23日に身分証を持っていない日本人と思われる人が、 治安機関と情報機関の協力の下で連れて来られた」。安田さ んが保護されたトルコ南部ハタイ県のエルダル・アタ知事 は、記者会見で解放についてこう説明した。

安田さんを内戦下のシリアで拘束していたとみられる過激派組織「シャーム解放委員会」(旧ヌスラ戦線)は、イスラム法(シャリア)に基づく統治を目指す点で、同胞団の思想と共鳴しているといわれる。トルコのエルドアン大統領を支える与党・公正発展党も同様の考え方が土台にある。トルコと同胞団の近さが解放交渉に役立ったといえる。

11年に起きたシリアの民主化…

カタールの専門家「日本政府と緊密に連携 極秘で交渉」 NHK2018 年 10 月 26 日 5 時 58 分

シリアで拘束されていたフリージャーナリストの安田純平さんの解放をめぐり、重要な役割を果たしたとされるカタールのテロ対策の専門家はNHKの取材に対し、「日本政府と緊密に連携し、失敗のおそれがあるため交渉は極秘で進められた」と述べ、日本政府の依頼を受けて、水面下の交渉があったとの見方を示しました。



安田さんの解放をめぐっては、トルコとともにシリアの反 政府勢力に影響力を持つカタールが重要な役割を果たした とされています。

これについて、カタールを代表するテロ対策や治安情報の 専門家、ジャビル・ハラミ氏が首都ドーハでNHKの取材 に応じました。

この中で、ハラミ氏は解放交渉について「カタールは日本 政府と緊密に連携し、失敗のおそれがあるため交渉は極秘 で進められた」と述べ、日本政府の依頼を受けて、水面下 の交渉があったとの見方を示しました。

また、「身代金を支払ったとしても掛けがえのない人命が守られるのであれば、それは全く問題ない」と述べ、カタールから身代金の支払いがあった可能性を指摘しました。 そのうえで、安田さんが拘束されていたシリア北西部のイドリブ県で、今月、反政府勢力に対するアサド政権の総攻

「トルコがこの機会を捉えて、あらゆる勢力への働きかけを強めた結果、解放に至った」と述べ、イドリブ県をめぐる情勢の変化も大きな転機となったとの見方を示しました。

撃を回避するため、非武装地帯が設けられたことに触れ、

安田さん取材のシリア、今どうなってる? なお続く内戦 朝日新聞デジタルイスタンブール=其山史晃 2018 年 10 月 25 日 17 時 44 分





安田さんが不明になったイドリブ

県周辺の勢力図

日本人ジャーナリスト安田純平さん(44)が取材に向かった内戦下のシリアは現在、反体制派が最後の大規模拠点とするトルコ国境のイドリブ県に追い込まれている。アサド政権を支援するロシアと、反体制派を支えるトルコが9月に同県での非武装地帯の設置で合意。トルコが同県の過激派組織の武装解除を説得中だ。

非武装地帯は今月15日が設置期限だった。設置の条件とされた過激派組織の撤収は設置期限を過ぎても実現していないため、危うい状況が続いている。

中でも注目されるのが、最大勢力「シャーム解放委員会」 (旧ヌスラ戦線)の動向だ。国連などがテロ組織と認定し、 戦闘員は1万人強とみられる。 安田さんは、旧ヌスラ戦線 に拘束されているとされてきた。

イドリブ県には約300万人の住民がおり、戦闘になれば、大勢の死傷者や難民・避難民が出ることは避けられない。国際社会が強い懸念を示したこともあり、現在までに政権軍の総攻撃は起きていない。

シリア内戦は2011年、チュニジアやエジプトの民主 化運動「アラブの春」の影響を受けた市民らの反政府デモ がきっかけだったが、アサド政権が武力で抑え込もうとし た結果、一部の市民が武装を始め、戦闘に発展した。政権 軍からも多くの兵士が脱走して反体制派に加わった。

アサド政権の崩壊を見込んだ欧米諸国やトルコ、サウジアラビアなどは、「弾圧される市民の保護」を理由に反体制派を支援。これに対し、シリアに軍事基地を置くロシアとアサド政権と同盟関係にあるイランは、シリアの主権尊重の立場から政権を支えた。

12年6月には、国連幹部が「内戦状態にある」と認定。 混乱が広がるなか、イラクで勢力を拡大した「イスラム国」 (IS) などの過激派組織もアサド政権に対抗する立場で 台頭し、内戦の構図を複雑化した。

軍事的な均衡を破る契機になったのが、15年9月からのロシアによる大規模空爆だ。ロシアはISだけでなく、反体制派の武装組織もターゲットにした。これに勢いを得た政権軍は、16年末に最大の根拠地だった北部アレッポを奪還。その後、首都ダマスカス近郊や中部や南部の反体制派の支配地域を次々に制圧し、戦況の優位を固めた。

内戦終結に向けた国連主導の和平協議は、12年6月からジュネーブを舞台に始まったが、政権側と反体制派は実質的な話し合いに入れない状況が続いている。政権を支えるロシア、イラン、反体制派を支援するトルコが「呉越同舟」の別の枠組みで和平協議を進めるが、最終的に目指す形は異なるため、先行きは不透明だ。

ユーフラテス川の東側では、米国の支援を受ける少数民族クルド人の武装組織が国土の約3割を支配する。しかし、国境を接するトルコはこの組織を敵視しており、和平の話し合いには加われない状態が続いている。(イスタンブール=其山史晃)

辺野古、審査請求取り下げを=野党議員が岩屋防衛相に要求

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古への移設問題をめぐり、同県選出の野党国会議員4人は25日、岩屋毅防衛相と防衛省で会談し、同省が同県の埋め立て承認撤回に対して行った不服審査請求の取り下げを申し入れた。これに対し、岩屋氏は「沖縄の負担軽減を何としても達成するため、やむを得ず(手続きを)取った」と述べ、拒否した。

会談後、社民党の照屋寛徳国対委員長は記者団に「(県知事選などで示された)沖縄の民意を圧殺し、強行的に辺野古の新基地建設を進めるという許し難い回答だ」と批判した。(時事通信2018/10/25-11:35)

沖縄県、辺野古審査めぐり意見書

産経新聞 2018.10.25 11:54

沖縄県は25日、米軍普天間飛行場(宜野湾(ぎのわん)市)の名護市辺野古移設にからみ、防衛省沖縄防衛局が行政不服審査法に基づき辺野古埋め立て承認撤回の効力停止を国土交通相に申し立てたことに対し、国交相に却下するよう求める意見書を提出した。

意見書では、行政不服審査が私人の権利・利益の救済を目的としたものであり、「国には審査請求・執行停止申立の適格が認められない」と主張した。また、重大な損害を避けるための緊急性もないなどとした。PR

沖縄防衛局は、県による埋め立て承認の撤回が「行政権限の乱用」だとして、17日に審査請求と効力停止申し立てを行った。県の撤回理由に根拠がなく、十分な反論機会を与えられていないとも主張している。

国交相は今後、沖縄防衛局と県の主張を踏まえ、効力停止の可否を判断する。

しんぶん赤旗 2018 年 10 月 25 日(木)

新基地承認撤回 国の審査請求は不適法 沖縄県が意見 書を送付

沖縄県は24日、沖縄防衛局が名護市辺野古の米軍新基 地建設に伴う埋め立て承認の撤回を無効にするため、行政 不服審査法に基づく審査請求・執行停止申し立てをしたこ とに対する意見書を石井啓一国土交通相に送付しました。

意見書は、行政不服審査制度は「私人」の権利救済を趣旨としており、国には審査請求・執行停止申し立ての「適格が認められない」と指摘。「執行停止申し立ての適格を欠き不適法」であるとして、執行停止申し立ての却下を求めています。

県の代理人である松永和宏弁護士らは24日、県庁で記者団に概要を説明し、「行政が加害者、私人が被害者の場合、 訴訟ではなく、より緩やかで迅速な救済を求めるのが行審 法制度の目的だ。国にその必要性はない」と付け加えました。

辺野古の海を埋め立てる根拠法「公有水面埋立法」では、 事業者が民間事業者の場合は「免許」を受けた後も、是正 命令や工事中止命令など、都道府県の監督を受け続けます が、国は「承認」をうけ、これらの監督をうけない特権が あります。松永氏は「承認は国のみが対象だ。私人と同一 ではない」とのべました。

さらに沖縄防衛局が日米安全保障条約上の義務を履行するために、閣議決定に基づき基地を建設し、外国国家に提供しようとしていることを指摘し、「これも私人ではなしえない」と主張しました。

意見書は255ページで、提出期限の25日に到達する 予定。同日正午、全文が県ホームページで公表されます。

沖縄県、対抗措置に意見書 政府の「矛盾」突く 「行政 審査法使えぬ」 「承認」、対象は国に限定

琉球新報 2018年10月25日 14:34

米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設を巡り、沖縄県は24日、埋め立て承認撤回の効力を止める執行停止は却下されるべきとした意見書を国土交通相へ送付した。私人の権利救済を目的とした行政不服審査法を沖縄防衛局が使うことは不適法だと批判し、執行停止を認める緊急性もないことなど真っ向から反論した。県の意見書の提出により、同じ内閣の中で救済を図る「身内」批判が強まる中で、国交相が執行停止を認める判断をするのか焦点となる。

沖縄防衛局は、私人救済を目的とする行政不服審査法(行審法)を利用する根拠として、仲井真弘多元知事から通常の事業者と同じ手続きで埋め立て承認を得たことなどを挙げている。

だが県は意見書で、国は私人と同一の立場ではない「固有の資格」を持つ機関であり、そもそも行審法を利用することができないと指摘した。

その理由として、防衛局が埋め立て「承認」を受けていることを挙げた。公有水面埋立法(公水法)では「承認」を受けるのは国のみに限定している。私人が都道府県知事から受けるのは「許可」だと指摘する。県は公水法が規定する「承認」と「許可」の違いを説明し、防衛局は国の機関としての立場を有していると結論付けた。

加えて、新基地建設事業は日米安保条約上の義務を履行するために閣議決定に基づいて基地を建設し、完成後は他国に提供する事業のことを指しており、私人ではなし得ないことだと強調した。県はこれらの理由から、国の機関として「承認」を受けている防衛局は私人救済を目的とした行審法を使えないと指摘した。

<執行停止>「緊急性認められない」/申し立て、撤回の 1カ月半後

行政不服審査法が執行停止を認める場合の「重大な損害

を避けるために緊急の必要がある」という要件について、 県は損害の性質が法律の要件を満たさず、埋め立て事業の 緊急性も認められないと主張した。

防衛局は執行停止に該当する根拠として、工事中断により警備費や維持管理費などで1日当たり2千万円の不要な支出を迫られることのほか、普天間飛行場の返還が遅れることによる周辺住民の生活環境改善の遅れ、日米間の信頼損失による安全保障体制への影響を挙げている。

これに対し県は、日米関係や普天間周辺住民の生活環境は、行政不服審査法が救済対象とする私人の権利利益ではなく一般公益だと指摘し、執行停止によって救済される損害とは性質が異なると反論した。

2015年の承認取り消し時には県の処分決定を受けて 即時に防衛省が執行停止を申し立てたのに対し、今回は県 の撤回決定から申し立てまで1カ月半かかっており、知事 選への影響を配慮した政治的な理由による保留は緊急性が ないことの証しだとする。

県の弁護士は「水深が深く軟弱地盤のある大浦湾側は実施設計もできていない状態で、この先何年かかるのかも分からない。工事に緊急の必要性があるというのは虚構だ」と指摘した。

<撤回処分>「国、事前協議応じず」/根拠の正当性 説 明

沖縄防衛局が県の公有水面埋め立て承認撤回は違法だと して執行停止を申し立てたことに対する県の意見書では、 防衛局の申し立ては不適法だとして却下を求めた上で、撤 回処分が適法であることの根拠について改めて法解釈を展 開している。

県は撤回処分の理由として(1)事前協議を行わずに工事を開始した違法行為(2)軟弱地盤、活断層、高さ制限および返還条件など承認後に判明した問題(3)サンゴやジュゴンなどの環境保全対策の問題―が認められ、災害防止や環境配慮、国土利用の観点から公有水面埋立法に基づき撤回に至った理由を展開している。

反論を用意する期間が十分に設定されなかったなど、撤回前に実施した県の聴聞手続きなどに不備があったと防衛局が主張していることに対しては、国に対する処分では行政手続法に基づく意見聴取を適用する必要がないと反論を示し、撤回が行政権の乱用には当たらないことなどを主張している。

<解説>法治国家 在り方問う

沖縄防衛局からの埋め立て承認撤回の執行停止要求に対し、県が国土交通相宛てに送付した意見書は「辺野古が唯一の解決策」だとして緊急性を訴える政府の「矛盾」(県側弁護団)を突くと同時に、申し立てを足元から崩すことを狙う内容になっている。審査請求書などで県の撤回処分を「違法で不当だ」と否定した政府に対し、正面から切り返した形だ。

県は撤回が正当である根拠として2017年6月に稲田 朋美防衛相(当時)が代替施設が完成したとしても別の返 還条件を満たさなければ返還されないと発言したことに言 及している。普天間飛行場の早期返還のために埋め立てる という論理が破綻し、埋め立てに見合う土地利用の価値を 求める公有水面埋立法に適合しないと指摘する。

また、軟弱地盤が仮にあっても一般的な地盤改良工事で 対応できると主張する政府に対し、県の弁護団は「何年か かるか分からない。普天間飛行場を返還させたいならば、 辺野古に基地を造ることは遠回りだ」と埋め立てに合理性 のないことを強調した。

15年は政府が取り消し翌日に対抗措置を講じたのに対し、今回は撤回から1カ月半が過ぎている。執行停止の判断基準となる「緊急の必要性」という点で説得力に欠ける面は否めない。

15年と同様、行政法学者の有志が立ち上がり、国の制度利用を批判する動きもある。多くの行政法学者も指摘する"無理筋"を政府が再び強引に押し通すかどうか、「法治国家」としての在り方が問われる。

(明真南斗)

撤回停止は「不適法」 沖縄県、却下求め国交相に意見書 琉球新報 2018 年 10 月 25 日 06:00



米軍キャンプ・シュワブ沿岸域の埋め立て区域の一部=1 0月18日午後、名護市辺野古(小型無人機で撮影)

米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設を巡り、沖縄県の 埋め立て承認撤回に政府が対抗措置を講じている件で、県 は24日、撤回の効力を一時的に止める執行停止は認める べきではないとする意見書を24日、国土交通省に送付し た。県は、国が行政不服審査制度を使って執行停止を求め ることは「不適法」だとし、申し立てを却下するよう求め た。執行停止を認める緊急性がなく、撤回処分は適法なの で効力を停止する必要性もないと訴えた。

県の埋め立て承認撤回で工事が止まり、沖縄防衛局は国 交相に撤回の取り消しと効力の一時停止を求めている。そ の手続きの一環として国交相は県に25日までに意見を提 出するよう求めていた。

県の弁護団は24日、県庁で会見し、意見書の内容を説明した。弁護団は(1)行政不服審査制度は私人の救済を目的とする(2)国による同制度の利用は地方自治の観点

から問題がある(3)国の機関が国の機関の申し立てを判断するのは公平性に欠ける―などと指摘し、申し立ては不適法とした。

県が撤回してから1カ月半が経過していることなどを挙げて効力停止の緊急性を否定した。意見書は本文6ページ、別紙255ページある。

国交相が同じく提出を求めている弁明書は県が11月2 0日までに提出する。

県の意見書、国交省に届く 防衛省の執行停止申し立て却 下求める 辺野古新基地建設

琉球新報 2018 年 10 月 25 日 12:10



米軍キャンプ・シュワブ沿岸域の埋め立て区域の一部=1 0月18日午後、名護市辺野古のキャンプ・シュワブ沿岸 (小型無人機で撮影)

【東京】名護市辺野古の新基地建設に伴う沖縄県の埋め立て承認撤回を巡り、防衛省沖縄防衛局による執行停止申し立ての却下を求める県の意見書が25日午前、国土交通省に届いた。

執行停止が認められれば撤回の効力が失われ、防衛省は 現在止まっている辺野古の工事を再開できるようになる。 審査権者の石井啓一国交相の判断が焦点となる。

県は意見書で、国の機関である防衛省が国民救済を趣旨 とする行政不服審査法に基づき執行停止を求めることは 「不適法」だと反論。執行停止が認められる要件となる「緊 急性」がないことも指摘している。

石井氏は今月19日の会見で「審査庁は速やかに執行停止するかどうかを決定しなければならないとされている。 適切に対応してまいりたい」と述べ、早期に判断する考え を示している。【琉球新報電子版】

与野党、譲歩見通せず 辺野古 県民投票 市町村態度に 影響も

琉球新報 2018 年 10 月 25 日 11:38



県民投票条例の与党修正案が与党の賛成多数で可決された = 24日、県議会

辺野古埋め立ての是非を問う県民投票の条例案は、与野党の激しい攻防の末、与党の修正案が委員会で可決された。 全会一致には至らなかったため26日の最終本会議で再度 審議されるが、双方は歩み寄る姿勢を見せていない。審議 の内容や結果は、県民投票の事務実施への態度を保留して いる6市(うるま、浦添、宜野湾、豊見城、糸満、石垣) に影響を与える可能性がある。県は、条例案可決後、県民 投票推進課を新設する方針。県が目指す全41市町村での 実施に向け与野党の駆け引きは続きそうだ。

委員会では、条例案の題名や内容を巡って議論が集中した。四つの選択肢を含めた修正案を提案した自民、公明が「県民のさまざまな意見を反映させる必要がある」と主張したのに対し、与党は「明確に賛否を問うべきだ」と応酬するなど互いに譲らず、午前10時に始まった委員会は途中休憩を挟み、採決は午後6時半ごろに行われた。

委員会終盤には、自公の県議らが県民投票に反対する意見書を可決した石垣市議会の動きを念頭に「虫食い状態になったら誰が責任を取るのか」と自民党系の首長や議会の協力を盾に与党に譲歩を迫った。これに対し、与党の県議らは、住民による直接請求の法制度や県民投票条例の趣旨を守ることの意義を繰り返し説明するなど、議論は最後までかみ合わなかった。

自民会派幹部は「本来は全市町村が賛成すべきだが、態度を保留している市があるので県民投票そのものの正当性がなくなっている。われわれは絶対に譲らない」と主張。 一方、与党議員の一人は「与党が歩み寄ることはない。一番良いのは、自民が退席した上で全会一致とするのが望ましい」と語った。

緑ヶ丘保育園を 宜野湾市長視察 求められる当事者意 識

琉球新報 2018 年 10 月 26 日 05:30



神谷武宏園長や児童の保護者らと意見交換する松川正則市 長(奥中央)=25 日、宜野湾市野嵩の緑ヶ丘保育園

宜野湾市の松川正則市長が、就任後初めて緑ヶ丘保育園を視察した。事故から 10 カ月以上が経過したが、米軍は部品落下を否定し、事故の原因究明は全く進んでいない。保護者らが求める全容解明や園上空の飛行禁止に対し、松川新市政が今後どこまで積極的に日米両政府などに要請し、

米軍機の飛行状況を発信するか注目される。

松川氏と園関係者による面談では、署名活動などをしてきた保護者から「これまで市行政に寄り添ってもらっている感覚がなかった」「孤立感があった」など悲痛な言葉が相次いだ。佐喜真淳前市長は事故当日に園を訪れたが、事故から1週間後の嘆願書提出で保護者と面談して以降は、一度も会うことはなかった。

松川氏は視察後、記者団に「県警の調査状況の問い合わせや防衛局への申し入れは副市長としても取り組んできたが、情報交換ができていなかった。情報はしっかり提供したい」と園に寄り添う姿勢を強調した。

今月15日に視察の要請を受けてから10日後の訪問に保護者から「心強い」との声が上がり、前市政に比べ丁寧な対応との評価だ。

園上空を連日米軍機が飛行し、保護者の不安が拭えない中、市にはこれまで以上に園に寄り添い、当事者意識を持った対応が求められる。(長嶺真輝)

特別評論 玉城県政発足 自立への渇望、何度でも 琉球新報 2018 年 10 月 26 日 05:00



県議会10月定例会の一般質問で県議に回答する玉城デニー沖縄県知事=22日午前、県議会

台風 25 号の風雨が強まっていた 10 月 4 日深夜、夜勤の デスク業務を終えて会社前でタクシーに飛び乗った。 9 月 30 日の県知事選で当選した玉城デニー氏が県庁に初めて 登庁したこの日、当選証書の交付から就任記者会見と朝から慌ただしく続いた。一方で台風の接近で県庁は午後から 緊急閉庁となり、新知事から職員への訓示は吹き飛んだ。 玉城県政、嵐の船出一。 陳腐だがそんな表現が頭に浮かんでいた。

暴風の中を進むタクシーの車中で、そういえば先週の今ごろも台風が心配だったねと運転手と話になった。南から台風 24 号が北上して知事選に直撃する予報があり、投開票が実施できるのか新聞社も気が気でなかった。投票率への影響も懸念されたが期日前投票所には1票の行使を無駄にしまいとする有権者の長蛇の列ができ、関心の高さをかえって印象付ける形になった。

「久しぶりに投票に行ったんですよ」と運転手が問わず 語りにつぶやいた。年齢は私と同じか少し上の 40 代半ば くらいか。「高校生の娘から知事選の話をしてきたんです。 それで息子も含めて家族で話をして、今度の選挙は県民投票みたいなものだよって子どもたちに言ったんです。今ここで沖縄が政府に擦り寄る結果にしてはいけないよって」と続けた。有権者一人一人が真剣に向き合った行動が積み重なり、結果として玉城氏の過去最多得票となったことの重さを実感させられた。「今の政府のやり方では基地は造られてしまうかもしれない。でも、無駄な抵抗だとしても自立したところを見せないといけないじゃないですか」の言葉に、こちらの眠気も吹き飛んでいた。

新県政が発足して早々の12日に、就任あいさつで上京した玉城知事と安倍晋三首相、菅義偉官房長官との官邸での面談が実現した。玉城知事は辺野古新基地建設反対の民意が自身の当選によって改めて示されたことを伝え、翁長雄志前知事による埋め立て承認の撤回に法的措置を取るのではなく県政との対話の継続を求めた。

だがこの5日後、沖縄防衛局は名護市辺野古沿岸部の埋め立て承認を撤回した県の処分を不服とし、行政不服審査法に基づく審査を石井啓一国土交通相に対して請求。審査結果を待たずに撤回による工事停止の効力を直ちに止める執行停止も併せて申し立てた。知事選で示した沖縄の民意はあまりにも早く簡単に踏みつけられた。

21 日投開票の那覇市長選が繰り広げられているさなかでもあった。もはや沖縄の選挙には一切配慮しないという 冷淡で強権的な態度を取っても、内閣支持率には響かず、 地元の自民党県連から抗議の声が表立って上がらない(上 げられない)ところに、今の政治状況の異様さを覚える。

法廷闘争で知事を追い込み、基地建設の既成事実を積み 重ねて県民の間に諦めを広げる。翁長前知事への当面の弔 いムードが過ぎ去れば局面は変わるという認識が透けて見 える。

だが、知事選の結果は本当に一過性のものだろうか。「基地は造られるかもしれない。だけど……」という自立への渇望は、確かに翁長氏の死がきっかけになりはしたが、折に触れて何度でも噴き出す県民の潜在意識だ。辺野古移設に反対しない県政を誕生させるためなら選挙期間中は辺野古の工事を止めたままでやり過ごし、大量の国会議員や運動員を全国から投入しながら、望まない結果になればローカルな民意を無視してはばからない。県民は基地問題を通して見える本土と沖縄の時々の関係をよく見ていて、その記憶を内面に刻み込んでいる。豊見城市長選と連勝した玉城県政にとって、あるべき地方自治の目標へとぶれずに進路を取っていけるか。民意をつなぎとめる試金石となる。(与那嶺松一郎 政治部キャップ)

7回中6回「辺野古」 国、行政審査法を"活用" 県、対 抗措置に意見書

琉球新報 2018 年 10 月 25 日 14:35

名護市辺野古の新基地建設を巡り沖縄県は24日、行政

不服審査法に基づき防衛省沖縄防衛局が申し立てた執行停止の却下を求める意見書を国土交通省に送付した。同日国会内であった野党の会合で示された総務省の資料によると、2005年4月以降、国の機関が同法に基づき不服を申し立てたのは7件目で、うち6件が「辺野古」絡みとなっている。同法を使って国が国に救済を求めることに批判がある中、辺野古移設をいち早く進める手段とされてきた実態が浮かび上がる。



■スピード解決

7件のうち、辺野古移設に関して防衛省が "身内" である政府内の他省庁に執行停止の判断を仰ぐのは今回を含め、3件となる。過去2件はいずれも短期間で沖縄側が下した処分の執行停止が認められ、防衛省がただちに移設手続きを再開できるようになったことが特徴だ。

2015年3月、防衛省が海底に設置したコンクリートブロックがサンゴを損傷させたなどとして、翁長雄志知事(当時)が作業停止を指示したのに対し、同省は農林水産相に対し翁長氏の指示の効力を失わせる執行停止を申し立てた。農水相はわずか4日後にこれを認めている。

同年10月には翁長氏が辺野古埋め立て承認を取り消した。防衛省は対抗措置として、同法に基づき国土交通相に審査を請求し、執行停止も求めた。国交相はその2週間後に執行停止を決定した経緯がある。

防衛省は今回も、沖縄側の埋め立て承認撤回により止まった工事を再開させるスピードや確実性を重視し、政府内で決着を図ることができる行政不服審査法による対抗措置を講じたとみられる。

■手法に批判

ただこうした手法には行政法の専門家らから批判がある。 国民の権利救済を目的とする行政不服審査法には、国の 機関に「固有の資格」がある場合、不服申し立てができな い規定がある。今回のケースに照らすと、辺野古埋め立て が「固有の資格」による行為なのかどうかがポイントだ。 沖縄防衛局は埋め立てがあくまで一般私人と同様の立場に よるものだとして「固有の資格」には該当せず、行政不服 審査制度が使えると主張する。

一方、沖縄県は今月24日に国交省に送付した意見書で

「国は一般私人と同様の立場ではない」とし、「固有の立場」 にある防衛省が行政不服審査法を使って執行停止を求める ことは「不適法」だと指摘している。

同日、国会内で開かれた野党でつくる「沖縄等基地問題 議員懇談会」では、議員らが防衛省の対応を疑問視する声 が上がった。

原口一博衆院議員(国民民主)は、辺野古埋め立てに際して日米が海域に臨時制限区域を設け、立ち入りを禁じていることに言及。一般人が立ち入れない場所でそもそも私人による埋め立てが可能なのかとの質問に対し、防衛省の担当者は「(私人の埋め立ては)できない」と答えた。原口氏は「これ(防衛省の申し立て)が認められるなら、国民の権利を救済する行政不服審査法の本旨を外れてしまう」と強調した。

沖縄空手の神髄「平和の武」体現 5 重鎮、「空手の日」 演武

琉球新報 2018 年 10 月 26 日 06:00



10月25日の「空手の日」を記念し、奉納演武を披露する(右から)佐久川政信氏、平良慶孝氏、阿波根直信氏、島袋善保氏、仲本政博氏=25日、豊見城市の沖縄空手会館特別道場「守禮之館」

10月25日の「空手の日」を記念し、沖縄空手界の重鎮による奉納演武が25日、豊見城市の沖縄空手会館であった。関係者や海外の空手家ら約200人を前に、重鎮らは世界に誇る沖縄空手の神髄を堂々と披露し、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信した。

沖縄伝統空手道振興会の喜友名朝孝理事長はあいさつで、 仁義と礼を重んじ、戦後の沖縄復興の一助ともなった空手 が「平和の武術」だと強調。「来年はぜひ平和の礎で奉納演 武を大々的にやりたい」と意欲を見せた。

奉納演武では、佐久川政信氏(少林寺流、範士九段)が「徳嶺ぬ棍」、平良慶孝氏(松林流、範士十段)が「泊チントゥ」、阿波根直信氏(小林流、範士十段)は「クーサンクー大」、島袋善保氏(少林流、範士十段)は「セイサン」、県指定無形文化財保持者の仲本政博氏(古武道、範士十段)は「前里のヌンチャク」をそれぞれ披露した。

28日には那覇市の国際通りで、空手の日記念演武祭が開催される。

【経済プレミアム】F2後継戦闘機開発を支援 IHSの グレバット氏

産経新聞 2018.10.25 11:00

アジア太平洋地域の安全保障問題に詳しいIHSジェーンズのアナリスト、ジョン・グレバット氏(タイ・バンコク在勤)は17日までに東京都内でインタビューに応じ、米国政府が中国の脅威に対抗するため、航空自衛隊の戦闘機「F2」後継機の開発を強力に支援するとの見方を示した。日米共同開発が実現すれば、三菱重工業をはじめとする日本の防衛産業が国際化する好機になると指摘した。

F2後継機をめぐっては、世界最強といわれる米ロッキード・マーチン製の「F22」と、米国を中心に西側諸国が共同開発し、航空自衛隊も導入しているロッキード製「F35」の機体をベースに日米が共同開発する案が浮上している。

グレバット氏は日本が高性能の戦闘機を保有することは日本だけでなく、米国の国益にもかなうと指摘。一方で、F22に利用されているアビオニクス(航空機搭載の電子機器)やアクティブ電子走査式(AESA)レーダーなど最先端技術の対日供与は難しいと説明した。また、米中貿易戦争が激化する中、両国間で偶発的な軍事衝突が起きる可能性が高まっていると警告した。

主なやりとりは次の通り。

--F2後継機の共同開発はどう進むか

「日本政府は公式に認めていないが、共同開発の相手先は米国しかない。米国側メーカーはF2共同開発などの実績を持つロッキード・マーチンが有力だ。ロッキードは『第5世代』と呼ばれる最新の戦闘機技術を移転してもよいと話しているが、F22の技術のうち米国政府が移転したくないものもあり、日米政府間での協議事項となろう。アビオニクス、AESAレーダー、レーダー波妨害技術などの移転は法的な規制もあり難しいだろう」

--米国政府は共同開発にどのような姿勢で臨んでいるか「共同開発を通し、米軍と航空自衛隊との間でインターオペラビリティー(相互運用性)を維持、強化することができ、米軍の東アジア地域での作戦の効果が高まる。開発の受注というビジネス上の利益もあるものの、日本が高性能戦闘機を持つことこそが、それを上回る米国の利益だ。日本の防空能力を高められる戦闘機は、戦略上重要な"資産"であり、優先順位の高い目標だ」

--日本には、高いステルスやエンジン技術を背景に純 国産戦闘機を開発する構想もあった

「多くの国が国産戦闘機開発に挑んできたが、今や100%の国産は不可能だ。近代的な防衛装備は米国でさえ自国でまかなえず一部を欧州などに依存している。特定地域内で優位性を保つだけの戦闘機なら別だが、最先端戦闘機の単独開発は無理だ」

「炭素繊維強化複合材や翼の製造、アビオニクス、ミサイルに搭載する目標物識別、ナビゲーションなどの技術分野で日本の競争力は高く、米国も注目している。ただ日米

共同開発で、より大きな恩恵を受けるのは日本の方だ」

--F2後継機の共同開発が実現すれば日本の防衛産業の国際化にも弾みがつくか

「理論的にはイエスだ。ただ日本政府の対応には問題がある。たとえばF35をめぐりロッキードは三菱重工やIHI、三菱電機との協力を深めたいと繰り返し表明しているが、こうした民間企業への日本政府の支援がまだまだ足りない。日本からのF35のコンポーネント(構成部品)輸出が実現していない背景にも、政府の支援不足がある。防衛装備庁設立を機に国際化に向けた政府の取り組みがどこまで進むか、また、三菱重工など日本の防衛各社が事業の構造改革を通して価格競争力を高められるかが成否を左右する」

--米中貿易戦争が激化する中、太平洋での両国の軍事行動も変化するか

「中国は軍事面で過去数年間、超音速ミサイルや潜水艦からの発射技術などを急ピッチで開発。しかも東アジアの現状変更を狙っている。これが米国にとっての大きな懸念材料だ。こうした緊張の高まりの一側面として貿易戦争が起きたととらえている。米国が日米戦闘機のインターオペラビリティーを確保し、作戦能力を高めたいと考える背景にも中国の脅威がある」

「中国の軍事技術の脅威と、米中間の緊張が高まっている中で多くの軍事アナリストや軍の幹部が、東シナ海や南シナ海で両国が相手の行動や反応を読み間違えて軍事衝突に発展するリスクが増大していると指摘している。平和の維持には両国間の対話継続が必要だが、行き詰まりを見せている」(佐藤健二)

ベトナムに**陸自派遣、PKO 支援 重機の操作方法を教育** 共同通信 8/10/25 18:00

防衛省は25日、国連平和維持活動 (PKO) を支援するため、11月から12月にベトナムに陸上自衛隊員19人を派遣し、ベトナムや周辺各国の軍の要員に重機の操作、整備方法を教育すると発表した。アジアでは初。南スーダンから撤収した昨年5月以来、PKOへの部隊派遣が途絶える中、国際貢献をアピールする。

防衛省によると、PKO 部隊を早期に展開するにはインフラ整備が重要となる。自衛隊はこれまで各地に施設部隊を派遣しており、インフラ整備のノウハウは国際的に高く評価されているという。

訓練は国連の事業で、来年以降はアジア各国でも訓練を 本格化させたいとしている。

ベトナムで PKO 派遣支援 防衛省

日経新聞 2018/10/25 19:30

防衛省は25日、国連平和維持活動 (PKO) への発展途上 国の派遣を支援する「早期展開プロジェクト」をベトナム で実施すると発表した。11月5日~12月14日の日程で、ベトナムや周辺の東南アジア諸国の軍の工兵に油圧ショベルの操作などを教育する。これまでケニアで同様の活動をしてきた。対象をアジアに広げ国際貢献に取り組む姿勢を示す。

陸上自衛隊が約 20 人をハノイ近郊に派遣し、油圧ショベルなどの操作や整備の方法を教える。各国軍にノウハウを提供することで、国連の PKO への派遣が円滑に進むよう後押しする。

同プロジェクトは2015年からケニアで展開し同国のほか、 ガーナやナイジェリア軍などに教育をしてきた。

海自護衛艦 南シナ海で米軍補給艦から燃料提供 連携アピール

NHK10月26日4時10分



中国が軍事拠点化の動きを進める南シナ海で、海上自衛隊の最大の護衛艦がアメリカ軍の補給艦から燃料の提供を受け、日米の連携をアピールしました。周辺では中国海軍の駆逐艦が監視するように並走を続けるのが確認され、警戒している様子がうかがわれました。

海上自衛隊の最大の護衛艦「かが」など2隻は、政府が掲げる自由で開かれたインド太平洋戦略の一環として、ことし8月下旬から南シナ海を経由して、インド洋との間を往復する2か月間の長期航行を行っています。

護衛艦「かが」にはNHKの取材班が同乗して取材しており、25日には南シナ海の公海=公の海で、アメリカ軍の補給艦から燃料の提供を受ける様子が見られました。

海上での燃料補給は、自衛隊とアメリカ軍との間で食料や燃料、弾薬などを互いに提供し合う、ACSA=「物品役務相互提供協定」に基づき行われたもので、中国が人工島の軍事拠点化を進める南シナ海で日米間の連携をアピールした形です。

一方、周辺では中国海軍の駆逐艦が5キロ前後の距離を保 ちながら監視するように並走を続けるのが確認され、警戒 している様子がうかがわれました。

今回の燃料補給について、海上自衛隊は「部隊の行動上の 必要に基づき行ったもので、アメリカ海軍との連携の向上 を図ることができた」としています。

米朝会談「新しい流れ」 菅拉致相 解決へ「どんなチャンスも逃さず」

日経新聞 2018/10/25 21:00

拉致問題担当を兼務する菅義偉官房長官は 25 日、日本経済新聞などのインタビューで北朝鮮による日本人拉致問題の解決へ改めて意欲を示した。北朝鮮の非核化などを話し合う米朝首脳会談が 6 月に実現し「新しい流れができたのは事実だ」と指摘した。「どんなに小さなチャンスでも逃すことなく、解決に全力で取り組んでいきたい」と語った。菅氏は 2 日の内閣改造で拉致問題相を兼務した。インタビューでは「全ての拉致被害者の安全確保、即時帰国、拉致に関する真相究明、拉致実行犯の引き渡しは最大の責務だ」と強調。具体策は明かさなかったが「何が最善であるかを常に情報収集して分析している。その中で必要なものを実施する」と言明した。

安倍晋三首相は拉致問題や核・ミサイル問題の解決に向けて北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)委員長との直接会談に意欲を示す。菅氏は日朝首脳会談について「ありとあらゆる可能性を逃さない」と述べた。会談の時期は米朝が調整中の2回目の首脳会談後に限定せず「あらゆる情勢に対応できるよう取り組んでいきたい」と話した。

国連安全保障理事会による北朝鮮への制裁決議は「それぞれの国が責任を持って了承した」と説明し、各国が履行すべきだとの考えを示した。日米、日米韓3カ国に加えロシアや中国に関しても「制裁を徹底していくことに変わりはない」との見方を示した。

北朝鮮が 2016 年に拉致問題に関する特別調査委員会の解体と調査の中止を一方的に表明したことは「全く受け入れられない」と批判した。拉致被害者や行方不明者を含む「全ての日本人」に関する包括的、全面的な調査を約束した 14年のストックホルム合意を「破棄する考えは全くない」と訴えた。

拉致問題を巡る河野太郎外相との連携に関しては「あうんの呼吸で物事を進めることができる立場だ」と語った。拉致問題解決にあたり「国民の大きな世論の後押しは大変力強いものになる。拉致問題の様々な会合にできる限り出席し、少しでも国民世論が盛り上がり、後押ししてもらえることができるようにしたい」と述べた。

日本政府が拉致問題解決に向けて北朝鮮の平壌に連絡事務 所を設置したとの一部報道については「そのような事実は ない」と否定した。

慰安婦財団・徴用工問題で協議 日韓外務次官

日経新聞 2018/10/25 17:30

外務省の秋葉剛男次官は 25 日、韓国の趙顕(チョ・ヒョン)外務第 1 次官と都内で会談した。従軍慰安婦問題を巡る 2015 年の日韓合意に基づき韓国政府が設立した「和解・癒やし財団」や、元徴用工の損害賠償請求訴訟など 2 国間の懸案について協議した。今後も次官レベルの会談を続けると確認し、趙氏は秋葉氏の訪韓を求めた。

慰安婦問題に関しては韓国の陳善美(チン・ソンミ)女性

家族相が24日、財団を解散する可能性に言及し、11月に 具体的な措置を発表する意向を示した。趙氏はこうした韓 国政府の考えを伝えた可能性がある。

財団は慰安婦問題を最終的かつ不可逆的に解決するとした 15年の日韓合意の柱だ。日本政府が10億円を拠出し、一 部はすでに元慰安婦や遺族に配られている。財団の廃止は 日韓合意の無効化につながりかねず、日本政府は財団の解 散を受け入れない方針だ。外務省幹部は25日「日韓合意 に基づき解決するという日本の立場は変わらない」と強調 した。

両氏は徴用工問題に関しても議論した。韓国の大法院(最高裁)が 30 日、戦時中の強制徴用を巡り韓国人 4 人が新日鉄住金に損害賠償を求めた訴訟の判決を言い渡す予定で、同社への賠償を命令する判決が出るとの見方が多い。日本は 1965 年の日韓請求権協定で解決済みとの立場で、日韓間の新たな火種になる可能性がある。

金正恩氏、重大事案は実兄と相談 韓国紙報道

日経新聞 2018/10/25 14:22

【ソウル=鈴木壮太郎】北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン) 委員長が米朝交渉や南北対話などの重大事案について実兄の金正哲(キム・ジョンチョル)氏や妹の与正(ヨジョン)氏と協議していると韓国大手紙の中央日報が25日付で報じた。金正哲氏の動静はほとんど伝えられず、監視を受けているとの観測もあったが、事実なら兄弟仲は円満だということになる。

複数の情報関係者の話として伝えた。金正哲氏の役割は大きくはないものの「議論していること自体、金正恩氏が兄を尊重していると解釈できる」と情報関係者は分析しているという。

3 人は金正日(キム・ジョンイル)総書記と在日朝鮮人出身の舞踊家、高英姫(コ・ヨンヒ)氏との間で生まれた。 2017年2月にマレーシアで殺害された金正男(キム・ジョンナム)氏は映画女優だった成恵琳(ソン・ヘリム)氏との間に生まれた異母兄だ。

金正哲氏を巡っては韓国の情報機関が 16 年、権力から徹底的に阻害され監視を受けて生活していると国会に報告したことがある。金正恩氏は「白頭血統」という金日成主席以来の正統性を巡る争いでは手段を選ばない。13 年には叔父の張成沢(チャン・ソンテク)氏も処刑した。実兄の金正哲氏でさえも排除の対象との見方もあった。

一方、韓国に 16 年に亡命した北朝鮮の太永浩(テ・ヨンホ)元駐英公使の著作には、金正恩氏が 15 年、兄のためにエリック・クラプトン氏のロンドン公演で最高の席を予約するよう指示したとの記述がある。同氏の平壌公演実現に金正哲氏が奔走し、外務省も訪れていたとも記しており、情報は入り乱れていた。

与正氏は南北首脳会談や米朝首脳会談などの重要行事に同

席するなど、今年から積極的な外交活動を始めている。

首相「正恩氏と向き合う」 方針一変、対話前向き強調 東京新聞 2018 年 10 月 25 日 朝刊

安倍晋三首相は二十四日の所信表明演説で、北朝鮮との 対話に前向きな姿勢を強調した。今年一月の施政方針演説 では核・ミサイルや拉致問題を抱える北朝鮮への強硬姿勢 を示していたが、六月の米朝首脳会談を受け、態度を一変 させた。 (島袋良太)

首相は所信表明演説で、初の米朝首脳会談を「歴史的」 と持ち上げ、「次は私自身が金正恩(キムジョンウン)朝鮮 労働党委員長と向き合わなければならない」と表明。「相互 不信の殻を破り、拉致、核、ミサイルの問題を解決し、不 幸な過去を清算して、北朝鮮との国交正常化を目指す」と 踏み込んだ。

一月の施政方針演説では、北朝鮮に対し「いかなる挑発 行動にも屈することなく、毅然(きぜん)とした外交を展 開する」と力説していた。

所信表明演説では、日米間の課題への説明にも変化が見られた。

米軍普天間(ふてんま)飛行場(沖縄県宜野湾(ぎのわん)市)の移設に関し「基地負担の軽減に一つひとつ結果を出す」と述べるにとどめ、名護市辺野古(へのこ)の新基地建設には直接触れなかった。沖縄県知事選や那覇市長選で、新基地反対の候補が安倍政権支援の候補を破ったことに一定程度、配慮したとみられる。

施政方針では「辺野古沖への移設工事を進める」と明言していた。

九月に日米が交渉開始に合意した貿易協定に関しては、 所信表明で「農産品については、過去の経済連携協定で約 束した内容が最大限だ。この大前提を米国と合意した」と 強調。「協議が行われている間は、日本の自動車に追加関税 が課されることはないことも確認した。双方に利益が得ら れるような結果を出す」と理解を求めた。

施政方針演説では、トランプ米大統領と電話協議を含めた会談を二十回以上行ったことを挙げ「個人的な信頼関係」を強調していたが、所信表明では個人関係には言及しなかった。



米ミサイル配備なら対抗=核廃棄条約破棄でロ大統領



24日、モスクワで記者の質問に答えるプーチン・ロシア 大統領(AFP時事)

【モスクワ時事】ロシアのプーチン大統領は24日、米国が中距離核戦力(INF)全廃条約を破棄し、欧州にミサイルを配備するなら「同様の対応を取らなければならないだろう」と警告した。モスクワで行われたイタリアのコンテ首相との共同記者会見で語った。

プーチン氏は米国のミサイル配備に同意した欧州の国々は、国土をロシアからの「報復攻撃の脅威にさらすことになる」とけん制。「欧州をそのような危険に至らしめる必要があろうか」と述べ、こうした状況を引き起こしかねない米国のINF条約破棄方針を批判した。(時事通信2018/10/25-07:00)

米国のINF離脱 欧州は慎重 トランプ氏の思惑空回りか

毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 19 時 53 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 53 分)

【ワシントン会川晴之】中距離核戦力(INF)全廃条約からの離脱を表明したトランプ米大統領は、新型ミサイルの開発を進める考えだが、北大西洋条約機構(NATO)のストルテンベルグ事務総長は、欧州配備に慎重姿勢を示した。中国に対抗するため配備が有力視される日本などアジア諸国も同様の対応を示す可能性が高い。ロシア、中国に力で対抗しようとするトランプ氏の思惑が空回りしかねない状況だ。

新型ミサイルの配備候補地は、欧州に加え日本など極東 地域が有力視されている。米海軍のハリス太平洋軍司令官 (当時)は議会証言で「中国が保有するミサイルの約9割 が中距離ミサイル」と指摘、インド・太平洋の哨戒に当た る米海軍部隊を守るためには、中距離ミサイルの配備が必 要と説いている。

軍縮問題に詳しい米シンクタンク、スティムソンセンターの共同設立者、マイケル・クレポン氏は「韓国、日本、フィリピン、ベトナムが配備候補地になる」と分析する。日本では沖縄が候補地となるが、沖縄に新たな攻撃用ミサイルを配備するのは政治的には極めて難しい情勢にある。中国との関係を重視する韓国やフィリピンも難色を示すのは確実とみられ、ロシアとの緊張を高めたくない欧州と似た状況が生まれる可能性が高い。

配備先が見つからない場合、極東では米軍基地があるグ

アム島への配備しか選択肢がなくなる。グアム島から北京は4000キロ、上海も3000キロある。クレポン氏は「グアム島に配備するB52戦略爆撃機から巡航ミサイルを発射した方が時間を短縮できる」と指摘。「巡航ミサイルを150発以上搭載するミサイル原潜を活用すれば、脅威に対抗できる」と説く米専門家もいる。

日本は、中国だけでなくロシアの動向にも気配りする必要がある。INF条約が失効すれば、ロシアが極東に新型ミサイルを配備する可能性もあるからだ。北朝鮮の核・ミサイルの脅威に加え、中露両国の脅威に同時対処しなければならなくなれば、日本の安全保障環境は極端に悪くなる。今回の事態にどう対応するか、日本政府の対応も問われている。

米国のINF離脱 欧州はロシア対抗の核配備に慎重

毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 19 時 51 分(最終更新 10 月 26 日 01 時 04 分)

【ブリュッセル八田浩輔、ワシントン会川晴之】北大西洋条約機構(NATO)のストルテンベルグ事務総長は24日、記者会見で「同盟国が欧州にさらなる核兵器を配備することは予測していない」と述べた。トランプ米政権が中距離核戦力(INF)全廃条約からの離脱をロシアに伝え、新型ミサイル開発を明言する中、ロシアに対抗する核配備に慎重な姿勢を示した。

旧ソ連は1970年代後半、中距離核ミサイル「SS20」を欧州向けに配備、米国はこれに対抗して「パーシング2」ミサイルを英国や西独(当時)など西欧諸国に配備したことで緊張が激化した。これが引き金となり米ソ両国は削減交渉を開始、87年にINF条約を結んだ。

ロシアの中距離ミサイルの射程内に収まる欧州は、それ 以後、INF条約を「安全保障の柱」と位置付けてきた。 NATOは今月初旬の国防相会議で、ロシアが2017年 に配備した新型中距離巡航ミサイル「9M729 (SSC 8)」がINF条約に違反しているとの米国の主張に歩調を 合わせ、ロシアに説明責任を果たすよう求めてきた。

ストルテンベルグ氏はこの日の会見で、米国のINF条約離脱表明について賛否は示さず、「一方だけが順守しても条約は効果的ではない」と語り、ロシア側に非があるとの見解を示した。軍拡競争加速への懸念から、独仏や欧州連合(EU)から米側に再考を迫る声が上がる中、米側に一定の配慮を示した形だ。

一方、ロシアのプーチン大統領はこの日、NATOとは 対照的な反応を示した。イタリアのコンテ首相とモスクワ で会談した後の共同会見で、米国が新たなミサイルを欧州 に配備した場合は「同様の対応を取らなければならない」 と警告。さらに、新たなミサイルの配備を受け入れた欧州 諸国を「報復攻撃の脅威にさらす」と踏み込んだ。ただ、 11月に予定するパリでのトランプ氏との会談で「あらゆ る問題について話すことを期待する」とも付け加え、交渉 の余地があることをにおわせた。

米INF破棄 "問題はロシアのふるまい" NATO事務 総長

NHK2018年10月25日6時07分



アメリカがロシアに対しINF=中距離核ミサイル全廃条約を破棄する方針を伝えたことを受けて、NATO=北大西洋条約機構のストルテンベルグ事務総長は、条約に違反してミサイル開発を進めているとしてロシアを批判しました。一方で、ロシアへの対抗措置としてヨーロッパに新たに核兵器が配備されるといった事態にはならないという見方を強調しました。

アメリカのボルトン大統領補佐官は 23 日、ロシアのプーチン大統領とモスクワで会談し、アメリカと旧ソビエトが調印した INF=中距離核ミサイル全廃条約を破棄するというトランプ大統領の考えを伝えました。

これについてNATOのストルテンベルグ事務総長は 24 日、「一方が守らない条約に効果はない。問題はロシアのふるまいにある」と述べ、条約に違反してミサイル開発を進めているとしてロシアを批判しました。

そして今週にも大使級の会合を開いてロシアのミサイル開 発問題について協議することを明らかにしました。

一方で「われわれは新たな冷戦も軍拡競争も望んでいない。 同盟国がヨーロッパに核兵器を新たに配備することは予想 していない」と述べ、ロシアと対じするヨーロッパにアメ リカなどの核兵器が新たに配備されるといった事態にはな らないという見方を強調しました。

プーチン大統領「欧州にミサイル配置されれば対抗措置」 ロシアのプーチン大統領は、アメリカがINF=中距離核 ミサイル全廃条約を破棄する方針を示したことについて 「もしミサイルがヨーロッパに配備されたら対抗措置を取 る」と述べ、アメリカと同盟関係にあるヨーロッパ諸国を けん制しました。

プーチン大統領は 24 日、ロシアの首都モスクワでイタリアのコンテ首相と会談したあと、記者会見に臨みました。この中で仮にアメリカが INFを破棄した場合、ヨーロッパにどのような影響があるかと質問されたのに対して、プーチン大統領は、「もしミサイルがヨーロッパに配備されたら当然、対抗措置を取らなければならない」と答えました。そのうえで「ヨーロッパの国々は、もし配備を許可すれば自分たちの領土が報復攻撃の脅威にさらされることを理解するべきだ」と厳しい表情で述べました。

ョーロッパの多くの国々は、NATO=北大西洋条約機構に加盟し、アメリカと軍事的な同盟関係にあることから、プーチン大統領はこうした国々がアメリカの方針を支持しないよう強くけん制したものと見られます。

NATO が冷戦後最大の演習 北欧で 5 万人、対ロシア抑止 共同通信 8/10/25 16:24

【ブリュッセル共同】欧米の軍事同盟、北大西洋条約機構(NATO)は25日、ノルウェーなど北欧を中心に「冷戦後最大」(ストルテンベルグ事務総長)となる5万人規模の軍事演習を始めた。ロシアの軍事的脅威が高まる北欧で存在感を示し、抑止力向上を図る。

ロシアは国境を接するノルウェーでの大演習に神経をとがらせる。トランプ米大統領が米ロの中距離核戦力(INF) 廃棄条約の破棄方針を表明する中、欧米とロシアの緊張が 一層強まりそうだ。

演習は11月7日まで。全29加盟国と非加盟のフィンランド、スウェーデンを合わせた31カ国が参加する。

NATO、冷戦後最大の軍事演習 北欧中心に 5 万人規模 日経新聞 2018/10/25 16:40

【ブリュッセル=森本学】北大西洋条約機構 (NATO) は25日から11月7日まで、東西冷戦の終結後では最大規模となる合同軍事演習を行う。北欧の加盟国ノルウェーを中心に、北大西洋やバルト海周辺などで約5万人の兵士らが参加。加盟国が攻撃を受けた場合の部隊の即応能力を強化し、高まるロシアの脅威をけん制するねらいがあるとみられる。合同演習「トライデント・ジャンクチャー」には、NATOに加盟する29カ国と、非加盟のスウェーデン、フィンランドの計31カ国が参加。戦車など車両約1万台、航空機250機、艦船65隻が動員された。演習はノルウェーが「架空の敵対国」による軍事攻撃を受け、NATO軍がその主権回復をめざすというシナリオに基づく。

NATO のストルテンベルグ事務総長は24日の記者会見で「シナリオは架空だが、我々が学ぶ教訓は現実となるだろう」と指摘。「あらゆる脅威からも同盟国を守る準備ができている」と訴え、NATO が最重視するロシアの脅威への抑止強化のねらいを強くにじませた。演習はロシアの軍当局者の視察も受け入れる。

トランプ米大統領による中距離核戦力 (INF) 廃棄条約の破棄表明をめぐって米ロや欧ロの緊張が高まるなか、NATO の大規模演習の開催はロシアを刺激する可能性が大きい。

一方、ロシア側も9月、極東やシベリアなどで冷戦終結後 で最大規模の軍事演習を実施。中国も参加した同演習には NATO 演習を大きく上回る30万人が動員された。

板門店の JSA で非武装化が終了 南北と国連軍、42 年ぶ

共同通信 8/10/25 22:35



板門店の JSA から銃器などを撤去する韓国軍兵士=25 日 (韓国国防省提供・共同)

【ソウル共同】韓国国防省は25日、韓国と北朝鮮の軍事当局と在韓国連軍司令部の3者が進めていた板門店の共同警備区域(JSA)の非武装化作業が終了したと発表した。 JSA内から全ての銃器や弾薬を撤収した。JSAの非武装化は北朝鮮兵士が米軍将校2人を殺害した事件が起きた1976年以来42年ぶり。

軍事境界線を挟んで南北が対峙してきた JSA は分断の 象徴とされ、昨年 11 月には韓国に亡命した北朝鮮の軍人 が追っ手の北朝鮮兵士から銃撃される事件も起きていた。

3者は26、27日に撤去状況を確認する。今後は、双方の 軍人約35人ずつが非武装で警備する予定。

板門店警備を非武装化 南北と国連軍

日経新聞 2018/10/25 20:58

【ソウル=恩地洋介】韓国国防省は25日、韓国と北朝鮮、国連軍司令部の3者が進めていた板門店の共同警備区域(JSA)の非武装化が完了したと明らかにした。JSAから全ての銃器と弾薬を撤去し、監視哨所から撤収した。聯合ニュースによると、JSAの非武装化は北朝鮮兵士が米軍将校2人を殺害した事件が起きた1976年以来、42年ぶり。JSAの非武装化は南北の国防相が9月に署名した「軍事分野合意書」に基づく措置。今後は南北双方の兵士35人ずつが非武装で警備する。来月中には観光客がJSAの南側と北側を行き来できるようにするという。

韓国国防省によると 24 日には非武装地帯 (DMZ) で進めている地雷除去の作業中、朝鮮戦争で戦死した韓国人兵士とみられる遺骨を発見した。南北は 2019 年 4 月から共同の遺骨発掘事業を進めることになっている。

南北の軍と国連軍司令部 JSAの非武装化作業を完了 NHK2018年10月25日21時22分



韓国国防省は、南北の軍と国連軍司令部が25日午後まで

に、軍事境界線にあるパンムンジョム(板門店)のJSA =共同警備区域の非武装化に向けた、すべての武器などの 撤収を完了したと発表しました。今後は、南北それぞれ35 人以下の人員が、武器を持たずに警備を行うことになりま

韓国と北朝鮮は、先月の南北首脳会談で軍事的な緊張緩和を目指した合意書をまとめ、国連軍司令部とともにパンムンジョムのJSA=共同警備区域を非武装化するとして、まずは区域内の地雷の除去を今月20日に終えました。

韓国国防省は 25 日、JSAに配備されていた、すべての 武器や弾薬、そして兵士が警戒に当たる歩哨所の撤収を午 後までに完了したと発表しました。

今後は、南北がそれぞれ 35 人以下の人員で、武器を持たずに警備を行うとしています。

JSAの非武装化は、1976年に北朝鮮軍の兵士がアメリカ軍の将校2人を殺害して以来で、韓国メディアは、早ければ来月中にも区域内で観光客などが南北を自由に行き来できるようになると伝えています。

南北は、26日に将官級の会談を行うなど、軍事的な緊張緩和に向けた動きを加速させていますが、国連軍の中心になっているアメリカ軍が、合意書に盛り込まれている非武装地帯の上空に飛行禁止区域を設置することなどについて同意するかは不透明だとの指摘も出ています。

米朝声明の徹底履行強調 北朝鮮国防次官が演説

産経新聞 2018.10.26 00:10

中国を訪問している北朝鮮の金炯竜(キム・ヒョンリョン)人民武力次官(国防次官、陸軍上将)は25日、北京で開催中の安全保障の国際会議「香山フォーラム」で演説した。金正恩(キム・ジョンウン)朝鮮労働党委員長の非核化の意思を強調、新たな米朝関係構築をうたった金正恩氏とトランプ米大統領との共同声明を徹底履行すると表明した。

中国紙、環球時報によると、同フォーラムに北朝鮮代表が参加するのは初めて。経済建設に総力を挙げる金正恩氏の新たな路線と米朝対話を、軍として支持していることをアピールした形だ。PR

聯合ニュースによると、金炯竜氏は演説で「1年前まで軍事衝突の危険にさらされていた朝鮮半島に今は平和の気流が流れている」と指摘した上で「朝鮮半島を核兵器も核の脅威もない平和の地にするとの金委員長の確固たる意思のおかげだ」と語った。(共同)

北朝鮮の軍高官 非核化に向けた姿勢を強調

NHK2018年10月25日18時50分

北朝鮮の軍の高官が中国・北京で行われた国際会議で演説 し「わが国はこれからも朝鮮半島の緊張を緩和して平和を 成し遂げるために責任を果たしていく」と述べ、非核化に 向けた姿勢を改めて強調しました。



この国際会議は中国軍の関係団体が安全保障をテーマに北京で開催したもので、中国やシンガポールなどの国防相が 出席しました。

この中で、北朝鮮の朝鮮人民軍で大将に次ぐ「上将」の階級を持つ人民武力省のキム・ヒョンニョン次官が演説し、米朝首脳会談や南北首脳会談の結果に言及しながら「いま朝鮮半島で起きている劇的な出来事は、朝鮮半島を核兵器も核の脅威もない平和の地にするというキム・ジョンウン朝鮮労働党委員長の確固たる意志がもたらした結果だ」と述べました。

そのうえで「わが国はこれからも朝鮮半島の緊張を緩和して平和を成し遂げるために責任を果たしていく」と述べ、非核化に向けた姿勢を改めて強調しました。また、核実験場を閉鎖し、ICBM=大陸間弾道ミサイルの発射実験も中止し、代わりに経済の立て直しに全力を挙げるという北朝鮮の方針に触れて「人民生活の向上とともに、地域と世界の平和に寄与しようという目的がある」と説明しました。北朝鮮の軍の高官が海外を訪問してメディアに公開された場で演説するのは珍しく、北朝鮮の立場に支持を呼びかける狙いがあるものとみられます。

「違憲性認め謝罪を」=弁護団と与党WT初面会-強制不妊



与党ワーキングチームの田村憲久座長(左から2人目)に 要望書を手渡す全国優生保護法被害弁護団の新里宏二共同 代表(左端)=25日午後、東京・永田町

旧優生保護法下で障害者らが不妊手術を強制されるなどした問題で、被害者の救済策を検討する与党ワーキングチーム(WT)は25日、東京都内で全国被害弁護団と初めて面会し、意見を聴いた。弁護団の新里宏二共同代表は、違憲性を認めた上での国の謝罪と賠償や、被害者への救済制度の個別通知などを求めた要望書を、WTの田村憲久座長(自民)に手渡した。

新里氏によると、弁護団からは各地で係争中の国家賠償 請求訴訟の現状を説明。原告に被害者の配偶者がいること や、相続人からの相談も受けていることを伝え、「被害の実 態を踏まえ、(被害者本人以外にも) 救済範囲を広げてほしい」と求めた。

与党WTと並行して救済策を検討している超党派議員連盟の法案作成プロジェクトチームは、手術記録のない被害者らについて、有識者委員会の判定に基づき厚生労働相が認定する仕組みを検討している。新里氏はWTに「『当時は合法だったので謝罪も補償も調査もしない』と繰り返してきた厚労省が仕切るのは、被害者が納得しない」と訴え、行政から独立した認定機関の設置を要請したという。

田村座長は面会の冒頭、「ご要望を施策の参考にさせていただきたい」とあいさつした。(時事通信2018/10/25-18:56)

不妊手術、「通知」を強く要望 弁護団が与党 WT と初面 会

共同通信/10/25 22:15



旧優生保護法に関する与党ワーキングチーム座長の田村元 厚労相(中央)に要望書を手渡す新里宏二氏=25 日午後、 国会

旧優生保護法(1948~96年)下の不妊手術問題で、自民、 公明両党のワーキングチーム (WT) が25日、東京都内で 全国被害弁護団と初めて面会し、年内の救済方針取りまと めへ被害者側の要望を聞いた。

全国弁護団は関連法の前文に「謝罪」「賠償」などを盛り込み、対象となる被害者にはプライバシー保護に配慮しながら広く通知するよう求めた。与党WTは月内にも基本方針の骨子を取りまとめたい考え。被害者側の意向がどれだけ反映されるか注目される。

強制不妊 被害弁護団「救済対象者に通知を」 与党に要 望

毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 23 時 51 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 47 分)

旧優生保護法(1948~96年)下で障害者らへの不 妊手術が行われていた問題で、被害弁護団は25日、救済 策を検討している自民、公明両党による与党ワーキングチ ーム(WT)の会合に初めて出席した。弁護団は、救済対 象者に救済制度周知のために通知することなどを求めた。 与党WTは被害弁護団の要望を踏まえ、月内にも救済策の 骨子を公表する方針だ。

救済策を巡っては、弁護団側は、救済対象であることを 被害者本人に通知するよう求めてきたが、与党WTや超党 派の議員連盟は、「周囲に知られたくない人もいる」(超党 派議連メンバー) として否定的だ。

このため、弁護団は救済制度や対象を丁寧に通知するよう要望した。新里宏二共同代表は会合後、記者団に「連絡がないと本人が分からない。被害者、障害者を無視した制度になる」と述べた。

被害弁護団はこのほか、不妊手術に同意したケースや手術した記録がない人も救済対象に含める▽国の政策の間違いを認め謝罪を表明する▽手術された本人だけでなく配偶者らも救済対象に含めるーーなどを求めた。

与党WTや超党派議連は、「おわび」を法案に記し、不妊治療に同意したケースや手術記録のない人も幅広く救済対象とする方針。一方、配偶者らは救済対象と認めない方向で議論を進めている。【藤沢美由紀、阿部亮介】

旧優生保護法での不妊手術 近く救済策取りまとめへ 自 公

NHK2018年10月25日19時03分



旧優生保護法のもとで強制的に不妊手術が行われていた問題をめぐり、救済策を検討している自民公明両党の作業チームは、25日、原告の弁護団から、手術を受けた人全員に対する謝罪や補償を求める要望を受けました。作業チームでは近く、救済策の基本方針を取りまとめることにしています。

平成8年まで施行された旧優生保護法のもとでは、本人の同意のないまま全国でおよそ1万 6500 人に不妊手術が行われ、自民・公明両党の作業チームが救済に向けた検討を進めています。

25日に開かれた作業チームの会合では、国に賠償を求める 裁判の原告の弁護団との意見交換が行われ、弁護団からは、 手術を受けた人全員を対象に国が謝罪し救済することや、 記録がなくても手術を受けたことが確認できれば補償金を 支払うよう要望が出されました。

作業チームでは、こうした要望を踏まえ、近く、救済策の 基本方針を取りまとめることにしています。

関係者によりますと、これまでの調整で救済策は、本人の同意がなかったケースも含め手術を受けたおよそ2万5000人を救済の対象とすることや、何らかの形式による謝罪の意を国が示すこと、さらに、手術を受けたかどうかを確認する審査機関を設けることなどが検討されているということです。

しんぶん赤旗 2018年10月25日(木)

市民と野党の共同の力で 新潟市長選 小柳候補必ず

小池書 記局長 が成説 演説

戦ま盤っ潟選大の最にた市(



(写真) 声援にこたえる小柳さとし候補 (左 から3人目)、小池晃書記局長 (その右) と超 党派市議ら=24日、新潟駅前

8日投票)で、市民と野党の共闘でたたかう無所属新人の 小柳さとし候補(31)=元新潟市議=の必勝をめざす緊 急街頭演説が24日、新潟駅前で開かれました。日本共産 党の小池晃書記局長が応援に立ち、「柏崎刈羽原発再稼働を 許さず、市民の立場で子育て・教育日本一の新潟市をつく る新しいリーダーの誕生を」と訴えました。

開始前から「市民+野党の力で新しい市政を」と書かれた横断幕を掲げた市民らの人垣がみるみる広がり、熱気に包まれました。

小柳候補は、「市民や子どもたちの安心・安全を守る立場から、柏崎刈羽原発再稼働に反対し、平和憲法の理念を次の世代へ引き継ぐ。市民と一緒に市民が主役の新しい新潟市をきりひらく」と気迫を込めました。野党各党の市議会議員が必勝を訴えました。

小池氏は、自民党候補2人との対決構図の中、自民党市長では市民不在・安倍政権いいなりになると告発。そのうえで「『オール沖縄』の首長選3連勝が、市民と野党の共闘でこそ新しい政治の道が開けることを証明した。沖縄のように勝ちましょう」と呼びかけると、市民は「そうだ」の声で応えました。

小池氏は、同日開会した臨時国会で改憲への執念を見せる安倍晋三首相に対し、「平和憲法の理念を子や孫に受け渡す」と訴える小柳候補を何としても勝たせて「戦争する国にはしない、9条改憲ストップの願いを託そう」と訴え。暮らしと景気を破壊する消費税10%への増税反対で力を合わせようと述べ、全国の政令市の中で民生費最低・土木費1位を正すことや、農家の戸別所得補償などが景気回復の決定打だと熱く語りました。

柏崎刈羽原発再稼働について、「明確に再稼働反対を訴え、 国や県、東京電力に対して堂々とモノを言える小柳候補を 市長に選ぼう」と強調。大型開発などの無駄遣いをやめ、 市民の福祉や子育て、教育最優先の市政を実現し、「沖縄に 続き、市民と野党の共同の力で安倍政治ノーの審判を下し、 新潟市政を変えましょう」と力を込めました。

国民民主、支持率1%は「倒産危惧企業」 勉強会で分析

朝日新聞デジタル山岸一生2018年10月25日21時23分支持率1%の国民民主党は、民間なら「倒産危惧企業」 一。支持率低迷から脱却するための方策を検討している 同党が25日に開いた勉強会で、講師の企業広報の専門家 からはそんな厳しい分析が飛び出した。

「国民ファン・支持者拡大に向けて」と題した勉強会には、同党の玉木雄一郎代表ら国会議員のほか、党職員も参加。マスコミに非公開で約1時間行われた。出席者によると、講師は議員と交換した名刺を並べた画像を示し、党のロゴがあるものとないものとバラバラになっている点を挙げ、地道なところから改善するよう指摘する場面もあったという。

玉木氏は終了後、記者団に「民間企業の立場で、政治の 分野でも応用できる示唆をいただいた。党のブランドは1 人が作るものでなく、チーム全体で作りあげることが大事。 国民運動につなげたい」と述べた。

目標支持率を聞かれた玉木氏は「空のように高く、頑張りたい」。執行部はこれまでも知名度不足が原因とみてホームページを刷新したり、SNSで発信を強めたりしているが、5月の結党以来、朝日新聞の世論調査では支持率1%が続いている。(山岸一生)

「逃げる片山さつき氏、徹底追及すべき」希望・松沢氏朝日新聞デジタル 2018 年 10 月 25 日 17 時 50 分



■希望の党の松沢成文代表

希望の党・松沢成文代表 (発言録)

唯一の女性大臣の片山さつき地方創生相に(国税庁への口利きの)疑惑がある。「今、法廷闘争中なので余計なことはしゃべれません。弁護士に言われています」っていうのは逃げの常套文句なんですよね。どの方も言いますよ。ただ、そうやって逃げの姿勢を通しているだけでは、ますます疑惑が深まって、むしろ片山大臣の立場を厳しくする。

野党側としては徹底追及していくべきだと思います。片山大臣が追い込まれるとなると、安倍内閣としてかなり危機に瀕(ひん)するのではないか。(25日、記者会見で)

野党 蓮舫氏、低姿勢アピール 「**丁寧な意見合わせを**」 毎日新聞 2018 年 10 月 26 日 00 時 12 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 12 分)

参院予算委員会の野党側理事の懇談会が25日、国会内

で開かれた。立憲民主党が国民民主党にかわって野党第1 会派となり、今国会から筆頭理事に「昇格」した蓮舫・立 憲参院幹事長は記者団に「丁寧な(野党間の)意見合わせ、 問題意識の共有を、これからの私の予算委運営の基本とし たい」と低姿勢をアピールした。

野党筆頭理事は野党側を代表して与党と交渉する役割。 蓮舫氏は先の通常国会では理事で、当時の筆頭理事の国民 民主党の川合孝典氏の方針に不満を漏らす場面もあった。 25日の蓮舫氏は「共有」を繰り返して野党間の連携重視 の姿勢を示したが、国民のベテラン議員は「今までかき乱 しておいてまとめられるとは思わない」と冷ややかだ。【遠 藤修平】

部会集約、来週に先送り=新在留資格創設めぐりー自民

自民党は25日、外国人労働者の受け入れ拡大に向けて 新たな在留資格を創設する出入国管理法改正案について、 26日を想定していた法務部会での意見集約を来週に先送 りする方針を固めた。同部会で反対論や慎重論が相次いで いるため、時間をかける必要があると判断した。週明け2 9日の集約を目指す。

政府は改正案の与党審査を来週中に終えて速やかに国会に提出したい考え。 菅義偉官房長官は25日の記者会見で「緊急の課題。今国会成立をお願いしたい」と語った。ただ、慎重な対応を求める声は公明党にも広がっている。

自民党の新藤義孝、田村憲久両政調会長代理、長谷川岳 法務部会長、小泉進次郎厚生労働部会長が25日、党本部 で改正案の扱いを協議し、26日の部会集約を見送ること で一致した。法務部会で幅広い観点からの議論が必要との 意見が出たことを踏まえ、29日は法務部会に先立ち厚労 部会でも議論する。

25日の自民党法務部会では、関係団体から意見を聴取。 連合の村上陽子総合労働局長は「国民的な議論が必要。日本社会の在り方にも影響を及ぼす課題だ」と述べ、今国会中の成立を目指すのは拙速との立場を示した。議員からも「徹底的議論が必要だ」などの声が上がった。

一方、経団連の井上隆常務理事は「人手不足に対応するため大変歓迎している」と新資格への賛意を表明。日弁連の市川正司・元人権擁護委員長は「技能実習生が労働力として使われていることへの懸念が解消される」と一定の評価を示した。(時事通信 2018/10/25-21:04)

衆院ペーパーレス化を推進=高市議運委員長、一般質疑回 数減も

衆院の高市早苗議院運営委員長(自民)は25日、超党派の「『平成のうちに』衆院改革実現会議」の小泉進次郎事務局長(同)らと国会内で会い、タブレット端末を導入したペーパーレス化や、議員提出法案の審議充実などを目的とした一般質疑の回数減に積極的に取り組む方針を示した。

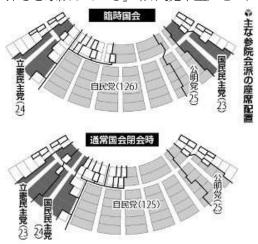
高市氏は参院で採用済みの押しボタン式投票の導入にも 意欲を表明。議運委の下に置かれ、自身が委員長を兼ねる 「国会法改正・国会改革に関する小委員会」を今国会中に 開き、検討を進める考えを伝えた。

小泉氏は面会後、記者団に「きょうはペーパーレス国会への大きな第一歩になるかもしれない」と強調した。(時事通信 2018/10/25-16:50)

立民と国民、参院議席「分断」…溝の深さ象徴?

読売新聞 2018 年 10 月 25 日 12 時 07 分

参院は24日、各会派勢力の変更に伴い参院本会議場の 座席配置を変更した。これまで隣り合っていた立憲民主党 と国民民主党の座席は与党を挟んで分かれた。来夏の参院 選に向け共闘を目指す両党は足並みの乱れも目立ち、「溝の 深さを象徴している」(自民党中堅)との声も出た。



参院事務局によると、参院本会議場の座席配置は慣例で、第1会派を中心に、第2会派以降は左右に振られながら順に配置される。第1会派は自民党(126人)、第2会派は公明党(25人)で、中央に与党が並んで座る。第3会派の立民(24人)と第4会派の国民(23人)は与党を挟んで座る形となった。

先の通常国会では、会期中の5月に国民が結党し、旧民 進党に所属していた議員が立民と国民に分かれた。旧民進 党に割り当てられた座席の中で議席を再配分した結果、立 民と国民は隣り合っていた。

参院選 社民、3人当選が目標 「政党要件失う危機」

毎日新聞 2018 年 10 月 26 日 00 時 14 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 14 分)

社民党の又市征治党首は25日、国会内で開いた党執行部と都道府県連幹部による会合で、来夏の参院選に関し3人以上の当選を目指すと表明した。結果次第で政党要件を失う危機にあるとし、全力を尽くすよう呼び掛けた。

会合では、参院選の比例代表に4人を擁立し、選挙区は 立憲民主党などと野党共闘を進める方針を確認。社民党は 2013年と16年参院選で各1人の当選にとどまる。又 市氏は「萎縮やあきらめを払拭(ふっしょく)してもらい たい」と訴えた。

社民党、政党要件かかる正念場 又市党首「萎縮や諦め、 払拭する努力を」

産経新聞 2018.10.25 19:15

社民党は25日、全国幹事長会議を国会内で開き、来夏の参院選の選挙区、比例代表合計で3人以上の当選を目指す目標を確認した。又市征治党首は、参院選の結果によっては政党要件を失うことを念頭に「諦め気分が(党内に)横溢(おういつ)しているのではないか。萎縮や諦めを払拭する努力が求められている」と強調した。

社民党所属の国会議員は現在4人。参院選比例代表の得票率が2%に届かず、改選後も国会議員数が現状以下にとどまった場合、政党要件を失う。PR

幹事長会議には沖縄、鳥取両県を除く45都道府県連の幹部らが参加し、参院選の政策として「立憲主義の回復」や「所得再分配機能の強化」などを掲げることも決めた。

森友学園 近畿財務局の元職員からヒアリング 野党側 NHK2018 年 10 月 25 日 19 時 12 分



森友学園への国有地売却などをめぐり、野党側は、近畿財務局などの元職員から非公開でヒアリングを行い、出席した議員によりますと、元職員からは「しっかり解明してほしい」といった意見が出されたということです。

森友学園への国有地売却などをめぐり、立憲民主党など野党側は、25日に国会内で近畿財務局などの元職員8人から報道陣には非公開でヒアリングを行いました。

出席した野党側の議員によりますと、ヒアリングを行った 元職員はいずれも森友学園をめぐる問題には直接、関わっ ていなかったということで、元職員からは「上層部からの 指示がなければ、国有地の大幅な値引きなどは起きるはず がない」とか、「しっかり解明してほしい」といった意見が 出されたということです。

このあと立憲民主党の川内博史衆議院議員が記者会見し、 「ヒアリングした内容を分析し、国会で真実を明らかにしていきたい」と述べました。

消費税率引き上げ対策 低所得者に商品券発行を検討

NHK2018年10月26日4時05分

政府・与党は、消費増税に伴う景気対策として、クレジッ

トカードなどのポイント還元に加え、所得の低い人を対象 に商品券を発行する方向で検討しています。ただ、所得の 低い年金受給者に対しては給付金を支給することも決まっ ているため、今後、商品券を発行する対象について慎重に 調整を進めることにしています。

政府は、来年10月に予定される消費税率の10%への引き上げに伴う景気対策として、中小の小売店などで、現金を使わずにクレジットカードなどキャッシュレス決済で買い物をすると、購入額の2%分をポイントで還元する制度を導入する方針です。

ただ、公明党は「クレジットカードなどを持っておらず、 ポイント還元制度を利用しにくい人もいる」として、商品 券の発行も含めて検討すべきだとしています。

これを踏まえて、政府・与党は、ポイント還元に加え、所 得の低い人を対象に、購入価格よりも高い金額の買い物が できるプレミアム付き商品券を発行する方向で検討してい ます。

一方で、所得の低い年金受給者に対しては、消費増税に伴う負担を軽減するため、月額 5000 円を基準とした給付金を支給することがすでに決まっています。

このため、こうした人たちも含めて、商品券を発行するか どうかなど対象とする範囲について、今後、慎重に調整を 進めることにしています。

安倍首相「日中を新段階に」=北京へ出発、あす首脳会談



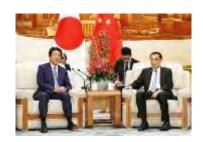
北京へ出発する安倍晋三首相(左)と昭恵夫人=25日午後、羽田空港

安倍晋三首相は25日午後、中国・北京を訪問するため、 昭恵夫人と共に政府専用機で羽田空港を出発した。26日 に習近平国家主席、李克強首相と個別に会談し、改善段階 に入った日中関係について、安定化に向けて発展させるこ とを確認したい考え。北朝鮮の非核化問題でも意見を交わ す。

首相は出発前、首相官邸で記者団に「今年は日中平和友好条約締結40周年の節目の年。訪問を通じて両国関係を新たな段階に押し上げたい」と表明。「日中は世界の平和と繁栄に大きな責任を共有しているとの共通認識の上に、胸襟を開いてじっくり話し合いたい」と述べ、海洋や自由貿易体制の問題も協議する考えを示した。(時事通信2018/10/25-12:52)

首相、日中協力は「新次元へ」 平和条約 40 年式典であ いさつ

共同通信 018/10/25 22:55



中国の李克強首相(右)と懇談する安倍首相=25 日、北京 の人民大会堂(共同)

【北京共同】安倍晋三首相は25日午後(日本時間同)、日本の首相として約7年ぶりに中国を公式訪問した。北京の人民大会堂で開かれた日中平和友好条約の締結40周年を祝う式典であいさつ。26日の首脳会談に関し「新たな時代にふさわしい新たな次元の日中協力の在り方について、胸襟を開いて議論したい」と強調した。中国への政府開発援助(ODA)の終了にも言及した。

26日の習近平国家主席、李克強首相との個別会談を通じて関係改善の流れを確かなものにし「新たな段階」へと進展させたい考えだ。

安倍首相は ODA に関し「その歴史的使命を終えた」と表明した。

原爆の子の折り鶴、福岡に 「思いやる心、思い起こして」 共同通信/10/25 18:09



佐々木禎子さんが生前に病床で作った折り鶴を手にする兄の雅弘さん=25 日午後、福岡県筑前町

広島市の平和記念公園内にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが生前に病床で作った折り鶴 1 羽が、命日の 25 日、福岡県筑前町の町立大刀洗平和記念館に寄贈された。

id子さんの兄でNPO法人「SADAKO LEGACY」(東京)の理事長を務める雅弘さん(77)=福岡県那珂川市=は贈呈式で「ここで鶴を見た時に禎子が大事にしてきた、相手を思いやる心を思い起こしてください」と述べた。禎子さんのおいの祐滋さん(48)=東京都中野区=は、禎子さんが闘病中に口にしなかった思いを想像して作詞作曲した歌を披露した。

原爆の子の折り鶴、福岡に 「思いやる心、感じて」 日経新聞 2018/10/25 19:18

広島市の平和記念公園内にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが生前に病床で作った折り鶴1羽が、命日の25日、福岡県筑前町の町立大刀洗平和記念館に寄贈された。



佐々木禎子さんが生前に病床で作った折り鶴を手にする兄の雅弘さん(25 日午後、福岡県筑前町)=共同

禎子さんの兄でNPO法人「SADAKO LEGACY」(東京) の理事長を務める雅弘さん (77) =福岡県那珂川市=は贈呈式で「ここで鶴を見た時に禎子が大事にしてきた、相手を思いやる心を思い起こしてください」と述べた。禎子さんのおいの祐滋さん (48) =東京都中野区=は、禎子さんが闘病中に口にしなかった思いを想像して作詞作曲した歌を披露した。

を伝えるパネルと共に展示。オバマ前米大統領が作った折り鶴も、長崎市から借りて来年2月3日まで紹介する。 禎子さんは2歳の時、広島原爆の爆心地から約1.6キロの 自宅で被爆。白血病を発症し、薬の包装紙などで1300羽 以上を折ったが、1955年10月に亡くなった。雅弘さんら

同法人が贈った白い2センチ四方の鶴は、禎子さんの生涯

は折り鶴を広島平和記念資料館や米ニューヨークの米中枢 同時テロ追悼施設などへ贈っており、同法人によると今回 で17カ所目。

大刀洗平和記念館は、旧日本陸軍の大刀洗飛行場の歴史を 伝える施設。同飛行場は太平洋戦争で特攻隊の中継基地と なり、東洋一の規模とされた。[共同]

靖国違憲訴訟、二審も敗訴 13年の安倍首相参拝

日経新聞 2018/10/25 18:22

安倍晋三首相の 2013 年 12 月の靖国神社参拝は憲法が保障する信教の自由を侵害し、政教分離原則に反しているとして、市民約 450 人が国や首相らに損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決で、東京高裁は 25 日、請求を退けた一審東京地裁判決を支持し、原告の控訴を棄却した。市民側は上告する方針。

高裁の大段亨裁判長は、参拝は原告の信仰に干渉するものではなく、信教の自由を侵害していないと指摘。参拝後に首相が発表した談話は「過去の反省と不戦の誓いを表明し

たものだと認められる」と判断した。

判決後に東京都内で記者会見した原告の関千枝子さん (86) は「安倍政権を忖度 (そんたく) した判決だ」と話した。同じ 13 年の参拝を巡る別の訴訟では、戦没者遺族らの損害賠償請求を退けた大阪地裁、大阪高裁判決が 17 年 12 月に最高裁で確定している。

市民側は、参拝は国際的緊張を高め、平和的に生きる権利を侵害したとも主張していた。〔共同〕

靖国参拝差し止め訴訟、2審も市民側敗訴

産経新聞 2018.10.25 16:49

安倍晋三首相が平成25年12月、首相として靖国神社に参拝したことで信教の自由が侵害されたとして、靖国参拝に反対する市民ら455人が安倍首相や国などを相手取り、参拝の差し止めや違憲性の確認、1人1万円の損害賠償などを求めた訴訟の控訴審判決が25日、東京高裁であった。大段亨裁判長は「参拝は信教の自由を侵害しない」として、請求を退けた1審東京地裁判決を支持し、市民側の控訴を棄却した。

大段裁判長は「参拝は市民らの信仰生活に圧迫や干渉を加えるものではない」とし、原告の法的利益を侵害しないため違憲かどうかの判断は必要ないとした。PR 同年の参拝をめぐっては、戦没者遺族らの損害賠償請求を退けた大阪地裁、大阪高裁判決が29年12月に最高裁で確定している。

女川原発1号機廃炉へ 運転開始35年、安全対策難しく 産経新聞山田雄介、志村英司2018年10月25日13時03分



女川原発=2018年1月



東北電力は、東日本大震災から稼働を停止している女川 原発1号機(宮城県女川町、同県石巻市)を廃炉にする方 針を固めた。運転開始から35年目を迎え、原則40年の 運転期限が迫っていた。同社は午後にも廃炉について宮城 県や立地自治体に説明する。

1号機は1984年に営業運転を始めた沸騰水型炉。2 号機と3号機、東通原発(青森県東通村)を含め、震災後に稼働を停止している同社の原発4基の中で最も古い。震災後に策定された新規制基準で、原発の運転期限は原則4 0年とされる中、老朽化が指摘されており、原子力規制委員会の適合性審査には申請していなかった。

また出力も52万4千キロワットで、82万5千キロワットの2号機や3号機と比べると小型で、経済性に乏しい点も判断に影響したとみられる。格納容器の直径が2号機の約23メートルに対して約10メートルと新規制基準を満たすための安全対策工事などが難しい面もあった。

2号機は2020年度以降、東…

東北電力 女川原発1号機の廃炉を決定 運転から約3 5年

毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 13 時 48 分(最終更新 10 月 25 日 14 時 01 分)



運転を停止している東北電力女川原発=女川町で2017年2月、本社機「希望」から徳野仁子撮影 宮城県庁訪れ村井嘉浩知事に伝える

東北電力の原田宏哉社長は25日午後、宮城県庁を訪れ、 村井嘉浩知事に東北電女川原発(同県女川町、石巻市)1 号機を廃炉することを伝えた。運転開始から間もなく35 年を迎え、運転期間の延長のためには巨額の安全対策費が 必要になることなどから決めた。

東京電力福島第1原発事故後、原発の運転期間は原則40年となった。女川原発1号機(52万4000キロワット)は1984年6月に運転を開始。東北電には東通原発(青森県東通村)を含め原発4基があり、1号機は最も古い。

1~3号機を備える女川原発は、東日本大震災の津波で 2号機原子炉建屋の地下が浸水するなどして全基が運転を 停止した。東北電は原子力規制委員会で適合性審査が続く 2号機など、同原発の他の発電設備については引き続き再 稼働に向けた対応を続ける。【本橋敦子】

東北電力 女川 1 号機廃炉決定 原田社長「総合的に勘案」 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 20 時 43 分(最終更新 10 月 25 日 20 時 43 分) 東北電力の原田宏哉社長は25日、東北電女川原発(宮城県女川町、石巻市)1号機を廃炉にすると発表した。運転開始から34年を経過し、残された運転期間が少なく、安全対策工事が技術的に難しいことなどから決めた。

この日、宮城県や立地自治体に説明した後、本店(仙台市)の定例記者会見で明らかにした。1~3号機を備える同原発は、東日本大震災の津波で2号機原子炉建屋の地下が浸水するなどして全3基が運転を停止している。1号機(52万4000キロワット)は1984年6月に運転を開始。東通原発(青森県東通村)を含め、震災後に運転を停止した東北電の原発4基の中では最も古い。東京電力福島第1原発の事故後、原発の運転期間は原則40年となっている。

原田社長は廃炉の理由として、安全対策設備の設置に必要なスペースがなく技術的制約が大きい▽再稼働した場合の運転年数が少ない▽(いずれも出力82万5000キロワットの2、3号機に比べ)1号機は規模が小さいーーなどと説明。「電力供給の安定性や経済性、環境適合などを総合的に勘案して判断した」と述べた。

一方、原子力規制委員会で適合性審査が続く2号機など の発電設備については引き続き再稼働に向けた対応を続け る。

東北電によると、1号機の廃炉に必要な費用として昨年 度末時点で約432億円を見積もった。同機の使用済み燃 料453体は敷地内の貯蔵施設などに保管することを想定 しているという。【本橋敦子】

東北電力 女川 1 号機廃炉 原発の発電比率達成、厳しく 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 20 時 54 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 53 分)

東北電力が女川原発1号機の廃炉を決めたのは、再稼働 に必要な新規制基準を満たすための安全対策が重荷となっ たためだ。東京電力福島第1原発事故後、安全対策費の高 騰で老朽化した原発の廃炉決定が相次いでいる。一方で原 発の新規建設などは見通せず、政府がエネルギー基本計画 で掲げる原発の発電比率目標の達成は厳しさを増している。

原発を再稼働するためには、地震や津波への備えを大幅に強化し、テロ対策も盛り込んだ新規制基準に適合する必要がある。女川1号機は営業運転開始から34年経過し、原則40年の期間を超えて運転するには原子力規制委員会で運転延長の認可も得なければならない。

東北電は詳細を明らかにしていないが、女川1号機が規制をクリアするためには、浸水対策や重要設備の耐震化などで多額の費用がかかる見込みだ。1号機の出力は52万4000キロワットと比較的小さいこともあり、再稼働や運転延長に多額の費用をかけるのは効率が悪く、東北電にとって廃炉の選択肢しかなかったとみられる。

政府はエネルギー基本計画で原発も「重要なベースロー

ド電源」と位置付け、2030年度の発電比率を20~2 2%にする目標を掲げている。原発30基程度の稼働が前 提だが、福島第1原発事故後、原子力規制委員会の安全審 査に合格して再稼働した原発は9基にとどまる。

一方、事故の後、東京電力以外で廃炉を決めた原発は、 女川1号機で7原発10基目。大手電力幹部は「今後、他 の原発の再稼働が進んでも、最長60年までの運転延長が 認められなければ順次廃炉となっていく。発電比率目標の 達成は相当ハードルが高い」と話す。

電力業界は政府が原発の新増設や建て替え方針を打ち出すことに期待するが、今年7月に4年ぶりに改定したエネルギー基本計画には新増設は盛り込まれなかった。電力大手でつくる電気事業連合会の勝野哲会長(中部電力社長)は「既設原発を安全・安定的に運転して稼働率を上げ、その成果を出していくことで新増設、リプレース(建て替え)に備える」として、原子力への信頼を回復することで新増設に理解を求める考えを示している。【袴田貴行、岩間理紀】

東北電力 女川 1 号機廃炉 地元「当然」「判断遅すぎ」 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 20 時 46 分(最終更新 10 月 25 日 20 時 46 分)

東北電力女川原発(宮城県女川町、石巻市)1号機の廃 炉が25日、正式に決まった。地元では「廃炉は当然」と の受け止めも多く、首長からは安全確保を求める声が相次 いだ。

この日午後1時半、東北電の原田宏哉社長から説明を受けた宮城県の村井嘉浩知事は「安全性の確保、住民への情報提供、安定的な電力供給に留意してほしい」と要望した。 女川町の須田善明町長と石巻市の亀山紘市長は「安全確保を最優先とした作業の実施」などを求めるコメントを出した。

県内では現在、女川原発再稼働の是非を決める県民投票 条例制定の直接請求を目指し、市民団体「女川原発再稼働 の是非をみんなで決める県民投票を実現する会」が署名活 動を展開している。多々良哲代表は「廃炉は当然で、意外 性はない。老朽化だけでなく、東日本大震災の揺れを受け た被災原発なのだから、むしろ判断が遅すぎた」と指摘し た。

原発から5キロ圏内の女川町内に住む漁業の男性(66)は、廃炉について「1号機ができた頃に新造した漁船を直しながら使ってきたが、かえって金がかかるので今年廃船にした。原発も同じ、古くなった機械だ」と語った。東北電が2号機の再稼働を求めていることについては「住民は本音では皆、(再稼働に)反対だろう。福島第1原発のような事故が起きたら、ここには住めなくなるのだから」と述べた。

東北電によると、女川原発の社員や協力会社員約270 0人の半数あまりが地元住民だが、今後も廃炉作業が続く ことなどから、雇用に大きな影響はないという。【百武信幸、 山田研、本橋敦子】

サウジ記者死亡 サウジ政府、皇太子関与否定で収拾狙いか

毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 23 時 24 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 46 分)



ムハンマド皇太子=AP

【カイロ篠田航一】サウジアラビア人記者のジャマル・カショギ氏がトルコ・イスタンブールのサウジ総領事館で死亡した事件について、サウジ検察当局は25日に国営サウジ通信を通じ、初めてカショギ氏の死亡が「計画的だった」ことを認定した。サウジ側は現在、事件現場となったトルコとの合同捜査の形で解明を進めているため、トルコのエルドアン大統領が23日の演説で「計画的な殺人」と明確に断定したことで、これ以上、認めないわけにはいかなくなった模様だ。

ただ、焦点となっているムハンマド皇太子による事件への関与については両国政府とも一貫して言及していない。一方、既に監視カメラの映像などから皇太子の警護担当者が現場に出入りした状況まで詳細に報じられており、皇太子が「一切関知しない」とする筋書きには無理が生じている。皇太子が苦しい立場に追い込まれる中、サウジが今回、トルコ捜査当局の顔を立てる形でエルドアン大統領の発言を追認した背景には、既に拘束されるなどした「サウジ人容疑者が暴走した」として殺害行為自体は認めながらも、

「皇太子の関与はなかった」とする筋書きに従って事態の 早期収拾を図りたいという思惑で、両国が一致している可 能性もある。

権威主義的な政権が多い中東では、情報機関などが反政府的な人物を弾圧する行為はいわば「公然の秘密」だ。だが今回の事件の特異な点は、本来は秘密裏に実施される工作活動の内容が早々に暴露されたことにあり、サウジ当局にとっては当初から「失態」が続いた手痛いケースとなった。当初、サウジ当局は「カショギ氏は総領事館を立ち去った」と突っぱねながら、その後は「口論の末、殴り合いになって偶発的に死なせた」と一転して説明を変えるなど、稚拙さも目立った。

サウジ指導部は「計画的殺人」を認めることで早期の決着を目指すとみられるが、今後も皇太子の監督責任を追及

する声が高まるのは必至だ。仮に皇太子が本当に何も知らなかったとしても、「治安当局や情報当局の動きを把握できない指導者」として資質が問われる事態にもなる。いずれにせよ、皇太子の改革者としてのイメージや威信が失墜するのは避けられず、サウジへの投資がさらに冷え込む可能性もある。

サウジ政府、記者殺害は「計画的」と認める 説明三たび 修正

日経新聞 2018/10/25 21:23

【リヤド=岐部秀光】サウジアラビア政府は25日、政府に 批判的だった著名記者ジャマル・カショギ氏の殺害が計画 的な犯罪だったと初めて認めた。死亡そのものを否定して いた当初の主張から後に「意図しない形での殺害」と修正 したサウジが再び説明を変えたことになる。不透明な対応 に欧米の同盟国などからも批判が強まりそうだ。



サウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン皇太子 (4月10日、パリ) =AP

サウジの検事当局が国営テレビを通じて発表した。殺害が計画的だったと判断したのは「(犯行が起こった)トルコの捜査当局から得られた情報」があったためだと説明した。今月2日にトルコの最大都市イスタンブールにあるサウジ総領事館を書類手続きで訪れたカショギ氏は建物に入ったきり行方不明になった。トルコ捜査当局は内部で殺害されたと主張したが、サウジ側は当初これを強く否定し「カショギ氏は建物を立ち去った」と説明していた。

その後、サウジはカショギ氏が建物内で起きたけんかで死亡したと発表。さらには尋問の途中で口をふさいだところ誤って殺害してしまったという説明に再修正していた。

二転三転するサウジの説明に対し、欧米の同盟国首脳も不信感を強めている。強大な権限をあたえられているムハンマド皇太子の責任追及を求める声が一段と広がる可能性がある。

サウジ記者死亡 「周到に準備された殺人」可能性高まる 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 23 時 19 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 49 分)

【イスタンブール高橋宗男、カイロ篠田航一】サウジアラビア人記者のジャマル・カショギ氏がトルコ・イスタンブールのサウジ総領事館で死亡した事件で、国営サウジ通

信は25日、サウジ検察当局がトルコ側から得た情報として「事件は計画的だった」と伝えた。サウジ側が、これまで否定してきた「故意」を初めて認めた形で、事件は「周到に準備された殺人」だった可能性が一段と高まった。



ジャマル・カショギ氏=AP

国営サウジ通信は「トルコ側から事件の容疑者が計画的な意図で犯行を実行したことを示す情報を受け取った」とする検察の声明を報じた。だが、誰が「計画殺人」の首謀者かなどには触れていない。

カショギ氏は今月2日に総領事館を訪問後、行方が分からなくなったが、サウジ当局は当初「カショギ氏は総領事館を立ち去った」と死亡自体を否定し、その後「サウジ人容疑者がカショギ氏と口論の末、殴り合いで死なせてしまった」「当局者らが首を絞め、死なせてしまった」と説明を二転三転させてきた。

だがトルコのエルドアン大統領が23日の演説で「計画的な殺人だった」と断定。米中央情報局(CIA)もカショギ氏殺害時に録音されたとみられる音声記録を確認したと伝えられていることなどから、「弁解」ができない状況に追い込まれた形だ。

一方、事件への関与も報じられている最高実力者のムハンマド皇太子は24日、首都リヤドで開かれた経済会議での演説で、事件について初めて公の場で言及。「痛ましく、正当化できない。殺人者には法の裁きを受けさせる」と述べ、自身の関与を改めて否定した。

皇太子とサルマン国王は23日にカショギ氏の息子らと面会して握手し、遺族側は謝意を述べたという。「融和ムード」の演出で、皇太子は自身への疑念をそらす狙いもあるとみられる。だがAP通信はカショギ氏を知る人物の話として、カショギ氏の息子は昨年以降、サウジ当局から出国禁止措置を受けていたとも伝えた。

サウジ記者死亡 サウジ検察当局、「殺害は計画的」 認める 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 21 時 42 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 52 分)

【イスタンブール高橋宗男、カイロ篠田航一】サウジアラビア人記者のジャマル・カショギ氏がトルコ・イスタンブールのサウジ総領事館で死亡した事件で、サウジ検察当局は25日、殺害が計画的だったと認めた。ロイター通信がサウジ国営メディアの報道として伝えた。

トルコのエルドアン大統領は23日、事件を「計画的な殺人」と断定。サウジ側は「殴り合いの末に死亡した」と事件が偶発的に起きたことを強調していた。

一方、これに先立ちサウジのムハンマド皇太子は24日、首都リヤドで開かれた国際経済会議での演説で事件に触れ、「痛ましく、正当化できない」と述べた。ロイター通信などが伝えた。カショギ氏死亡への関与も報じられる皇太子が事件について公に発言したのは初めて。「殺人者には法の裁きを受けさせる」などと強調し、自身の関与を改めて否定した。

また、皇太子とサルマン国王は23日にカショギ氏の息子らと面会して握手し、遺族側は謝意を述べたという。「融和ムード」の演出で、皇太子は自身への疑念をそらす狙いもあるとみられる。だがAP通信はカショギ氏を知る人物の話として、カショギ氏の息子は昨年以降、サウジ当局から出国禁止措置を受けていたとも伝えた。

サウジ記者死亡 欧州、武器輸出の凍結巡り対応割れる 毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 19 時 44 分(最終更新 10 月 26 日 00 時 48 分)

【ロンドン矢野純一、ブリュッセル八田浩輔】トルコ・イスタンブールのサウジアラビア総領事館でサウジ人記者が死亡した事件で、欧州各国はサウジを非難する一方、武器輸出の凍結を巡って、対応が割れている。ドイツは、武器輸出を当面凍結する方針を表明。英国やフランスは、国内産業に利益をもたらす武器輸出を継続する姿勢を示しており、国内からも批判を受けている。

英国のメイ首相は24日、英下院で、サウジを強く非難しながらも、武器輸出については「英国は世界で最も厳格な輸出審査を行っている」と述べ、ビジネスを優先させる意向を示した。一方、野党5党は連名で政府に対し、人権問題などを理由に、輸出禁止を求める書簡を提出し、圧力をかけている。

スウェーデンのストックホルム国際平和研究所によると、 英国の最大の武器輸出先はサウジで、武器輸出額の49% (2013~17年の合計)を占める。英下院によると、 17年のサウジへの武器や関連装備品の輸出額は約11億 4000万ポンド(1649億円)。サウジにとって英国は 米国に次ぐ武器輸入先だ。

今回の事件への関与が疑われるムハンマド皇太子が今年 3月に訪英した際には、戦闘機48機を購入する方向で基本合意。欧州連合(EU)からの離脱を控え、経済界に不安が広がる中、サウジに一層の商機を求めてきた。

事件を巡り、ドイツのメルケル首相は、真相が解明されるまでサウジへの武器輸出を禁止するとの強硬姿勢を示し、EU加盟国にも同様の対応を呼びかけている。EUの欧州議会も25日、ムハンマド氏の関与なしに事件が起きたとは考えにくいとして、加盟国にサウジへの武器禁輸を求める決議を採択した。欧州議会の決議に強制力はなく、サウジに武器を輸出する英仏ベルギーなどは輸出を継続する姿勢をみせているが、人権とビジネスのはざまでジレンマに

陥っている。

カショギ記者の息子が渡米 サウジ、出国禁止を解除か 日経新聞 2018/10/26 4:35

【イスタンブール=佐野彰洋】サウジアラビアの著名記者 ジャマル・カショギ氏の殺害事件で、ロイター通信は25日、 同氏の息子一家が米ワシントンに到着したと報じた。弾圧 を恐れたジャマル氏が2017年夏に米国に移り事実上の亡 命生活に入って以降、サウジに残った子供たちには出国禁 止命令が出ていたとの情報もある。



23日、ムハンマド皇太子(右)と握手を交わすサラー・カショギ氏。表情はこわばっていた(サウジ王室提供)=ロイタ

渡米したのは長男のサラー・カショギ氏で米国との二重国籍とみられる。サラー氏は23日にサウジの首都リヤドの王宮で、弔意を伝えたサルマン国王やムハンマド皇太子とこわばった表情で面会する様子が報じられていた。

事実上の最高権力者であるムハンマド皇太子を巡っては、 殺害を指示・承認する立場にあったとの見方が根強い。当 初、殺害を否定していたサウジ政府は説明を二転三転させ た末、25日に「計画的な犯行」だったと認めた。ただ、皇 太子の関与は否定している。

一方、殺害現場となったトルコの最大都市イスタンブール のサウジ総領事館の前では 25 日夜、ジャマル氏の支援者 や友人らがろうそくをともし殺害を非難した。

CIA 長官、記者殺害の音声記録確認 米報道

日経新聞 2018/10/25 14:56

【ワシントン=中村亮】米紙ワシントン・ポスト(電子版)は24日、ハスペル米中央情報局(CIA)長官がサウジアラビアの著名記者ジャマル・カショギ氏がトルコで殺害された際の音声記録を確認したと報じた。サウジ政府による計画的な犯行を裏付ける証拠となれば、トランプ政権がサウジ政府に追加制裁を科す可能性が出てくる。

音声記録にはトルコのサウジ総領事館でカショギ氏が尋問を受けて殺害されるまでのやり取りが収められているという。サウジ政府は一部の工作員による犯行と説明しているが、音声記録を持つトルコ政府は事前に準備された組織的な犯行だったと主張した。

トランプ政権は23日、サウジ政府への制裁措置として殺害の実行犯を対象に米国への入国査証(ビザ)の停止を決めた。ポンペオ国務長官は「今回の措置が最後の罰則とはならないだろう」と説明している。

講演 秘書が語る、日々若返る寂聴さんの秘密

毎日新聞 2018 年 10 月 25 日 18 時 45 分(最終更新 10 月 25 日 19 時 52 分)



ミッドランド毎日フォーラムで講演する瀬尾まなほさん= 名古屋市中村区で2018年10月25日、山口政宣撮影 ミッドランド毎日フォーラム(毎日新聞社主催)が25 日、名古屋市中村区のホテルで開かれ、作家で僧侶の瀬戸 内寂聴氏の秘書、瀬尾まなほさん(30)が「『日々若返る』 寂聴さんの秘密」と題して講演した。

瀬尾さんは大学卒業後、寂聴氏が開く寺院「寂庵」に就職。瀬尾さんは「自分に自信が持てず流されるまま生きてきた。講演や本の出版など考えてもみず、先生が私の可能性を見つけて背中を押してくれた。人との出会いで人生はここまで変わる」と振り返った。

66歳離れた寂聴氏について「私と年齢差を感じていないようだ。現役で仕事をし、若い人から刺激を受け、それを小説に書きたいと思っている。日々の吸収する力が若さの秘訣(ひけつ)だと思います」と述べた。【太田敦子】